

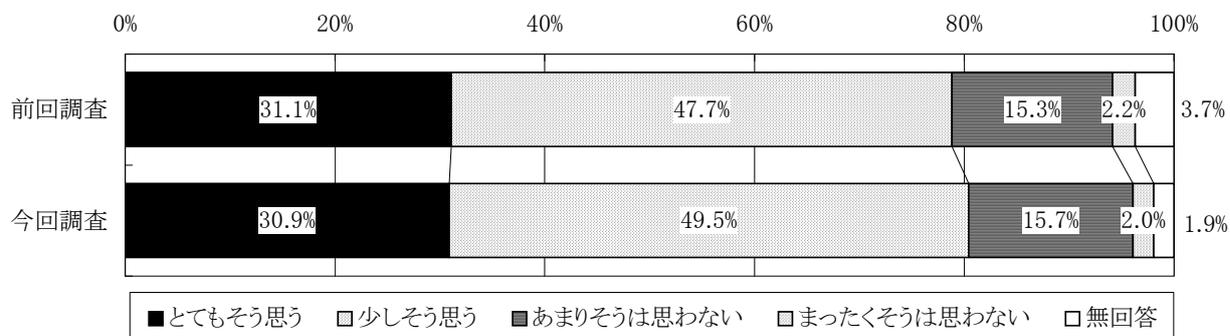
## IV. 前回調査との比較

## IV. 前回調査との比較

◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

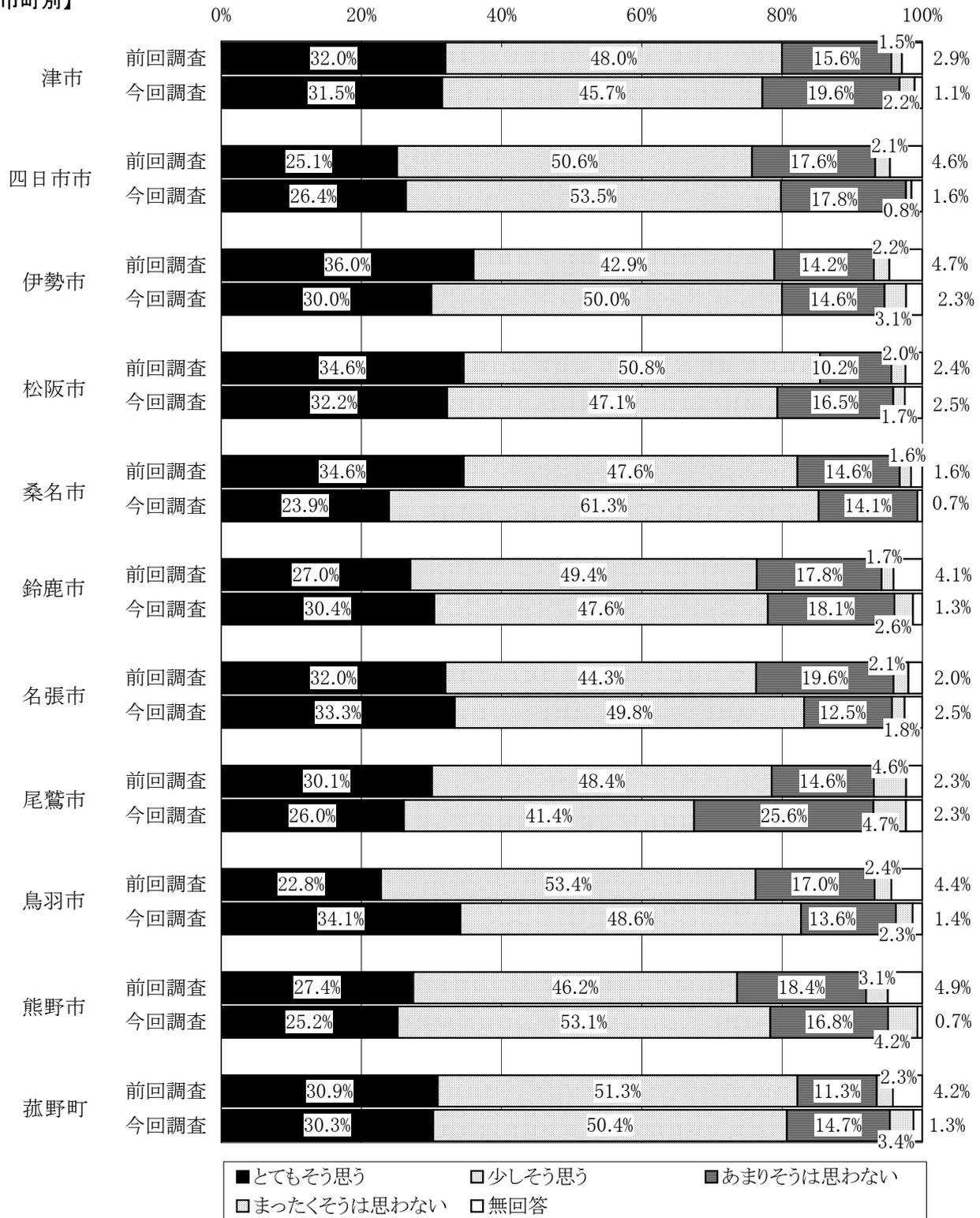
問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？(○は1つずつ) 【回答者数:3,682】

(1)家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う



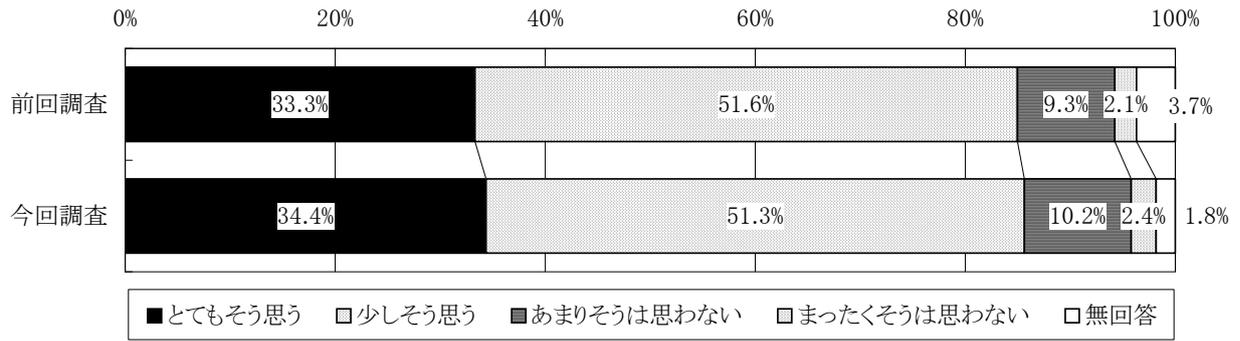
- 「暮らしの中に不要物が多いか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」はほとんど変化がない。「少しそう思う」がやや増加しているため、両方を合わせた割合は78.8%から80.4%へと1.6ポイントの増加となっている。

【市町別】



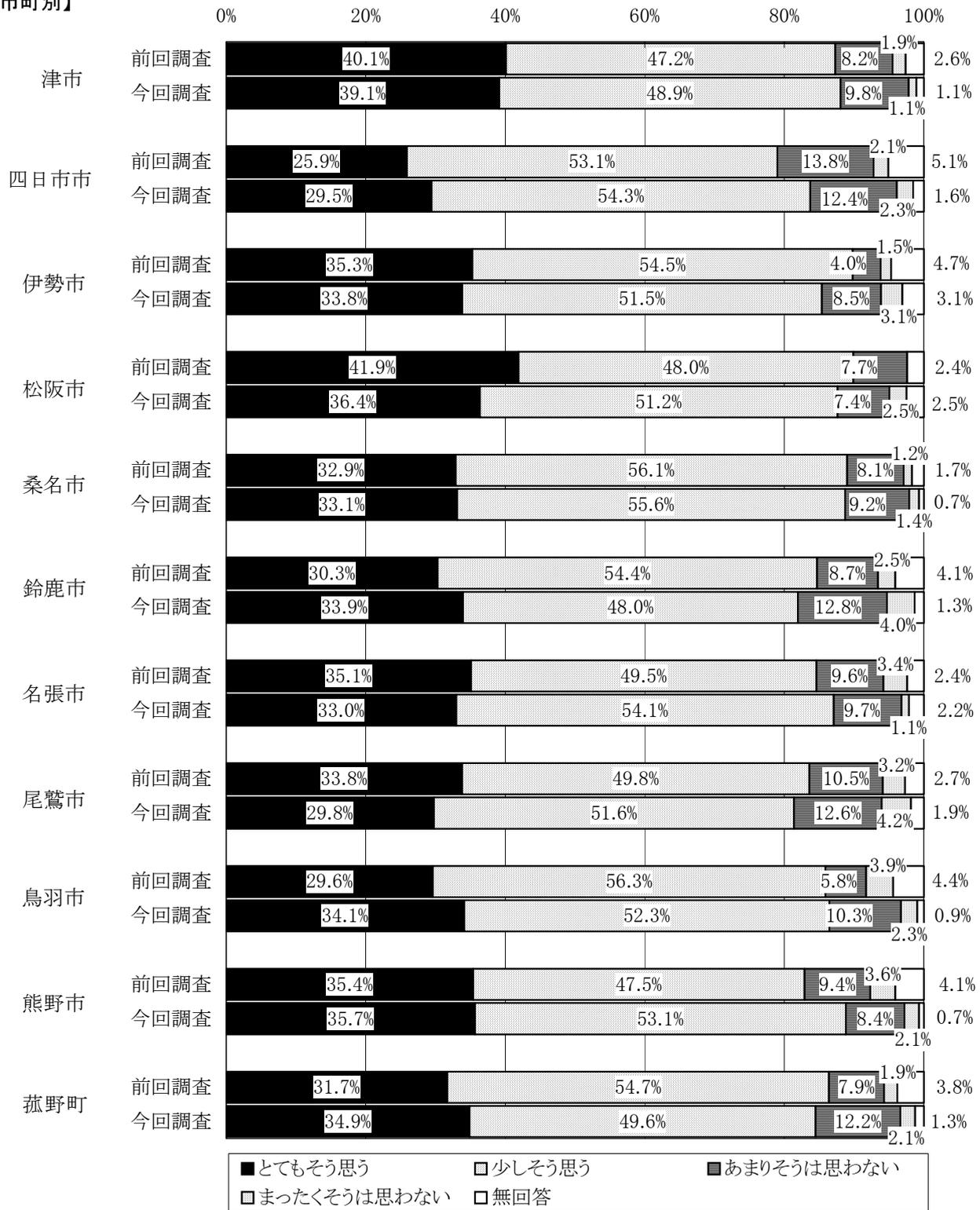
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は鳥羽市で11.3ポイントの増加となっているのに対して、桑名市では10.7ポイント減、伊勢市では6.0ポイント減、尾鷲市では4.1ポイント減となっている。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、名張市、鳥羽市、熊野市、四日市市などで増加傾向にあるのに対して、尾鷲市では11.1ポイントの減少となっている。

(2)ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう



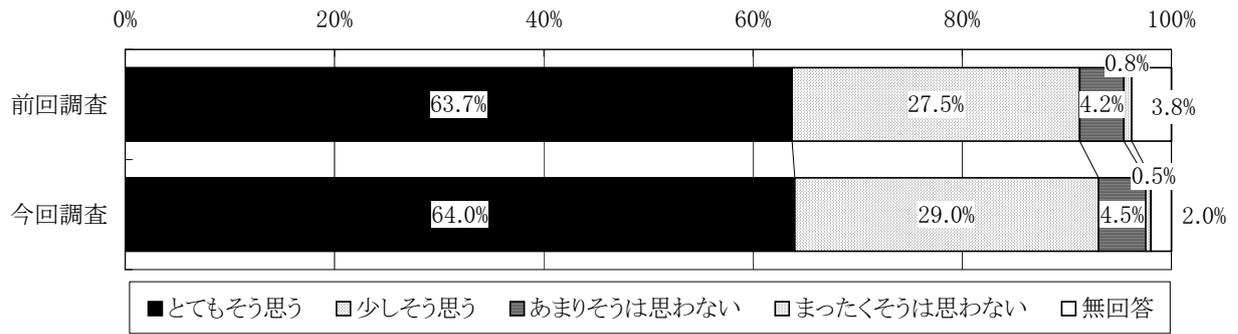
- 「ものを捨てるときに『もったいない』と思うか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」が1.1ポイントの増加となっている。傾向としては大きな変化はない。

【市町別】



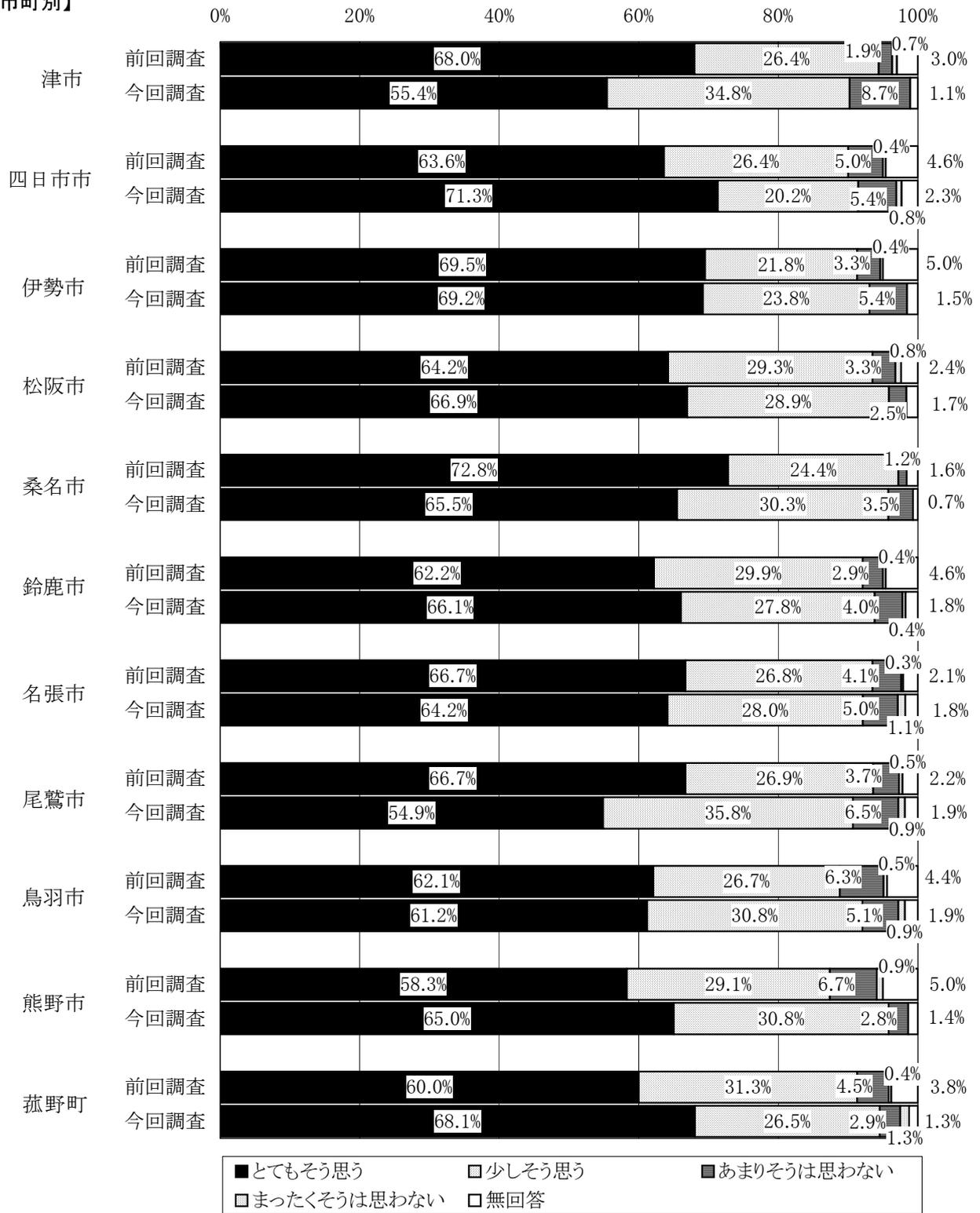
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は鳥羽市で 4.5 ポイント増、四日市市や鈴鹿市で 3.6 ポイント増、菰野町で 3.2 ポイント増となっているのに対して、松阪市では 5.5 ポイント減、尾鷲市では 4.0 ポイント減となっている。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、熊野市、四日市市、名張市で増加しているのに対して、伊勢市、鈴鹿市、松阪市、尾鷲市では減少となっている。

(3)商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う



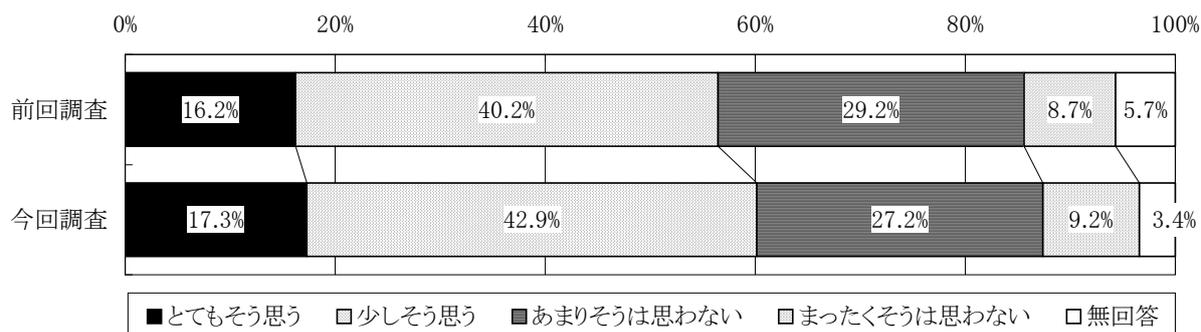
- 商品の過剰包装について、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」はほとんど変化がない。「少しそう思う」がやや増加しているため、両方を合わせた割合は91.2%から93.0%へと1.8%ポイントの増加となっている。

【市町別】



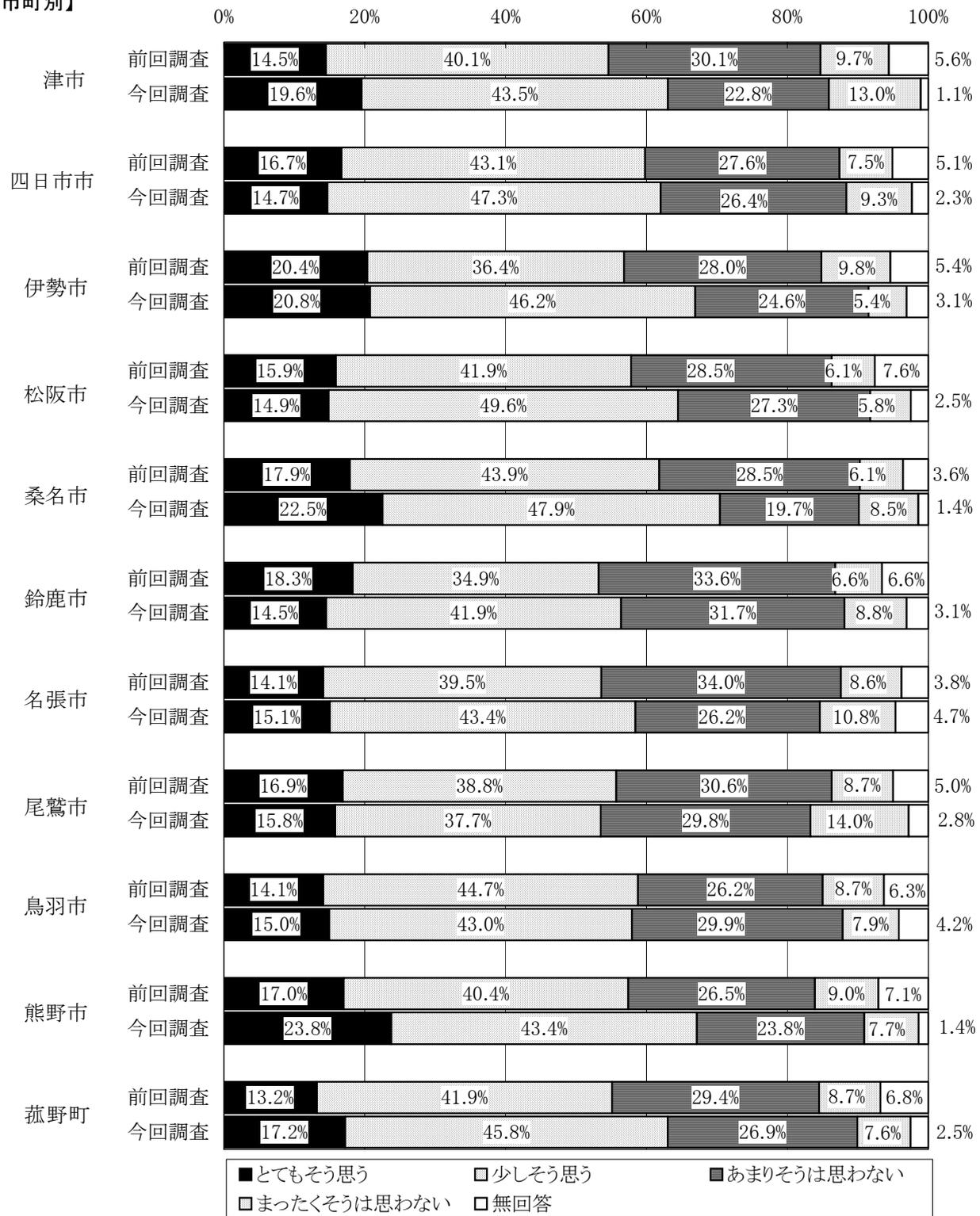
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は菰野町で8.1ポイント増、四日市市で7.7ポイント増、熊野市で6.7ポイント増、鈴鹿市で3.9ポイント増となっているのに対して、津市では12.6ポイント減、尾鷲市では11.8ポイント減、桑名市では7.3ポイント減となっている。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、熊野市、菰野町、鳥羽市で増加しているのに対して、津市、尾鷲市などではやや減少傾向となっている。

(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない



- 「多くの人が使いまわすものに抵抗感はないか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」、「少しそう思う」のどちらもやや増加傾向にあり、両方を合わせた割合は、56.4%から 60.2%へと 3.8 ポイントの増加となっている。

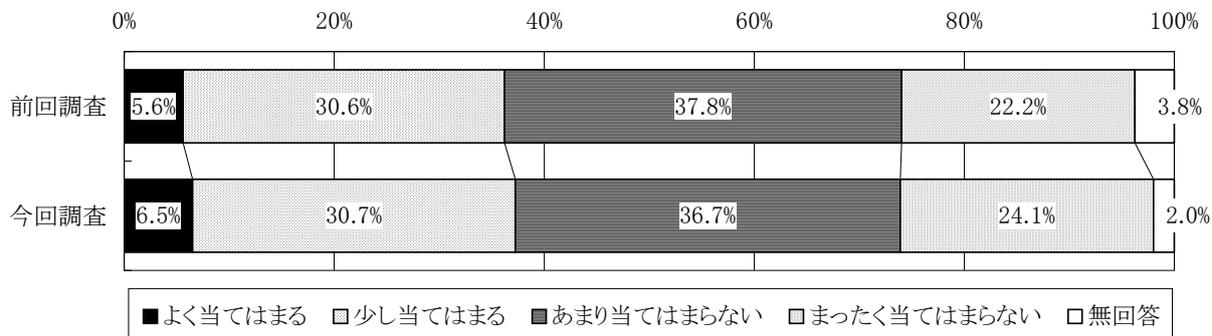
【市町別】



- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は熊野市で 6.8 ポイント増、津市で 5.1 ポイント増、桑名市で 4.6 ポイント増、菟野町で 4.0 ポイント増となっているのに対して、鈴鹿市では 3.8 ポイント減となっている。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、伊勢市、熊野市、桑名市、津市、菟野町、松阪市、名張市など、ほとんどの市町で増加している。
- 尾鷲市では、「まったくそうは思わない」が 5.3 ポイント増となっている。

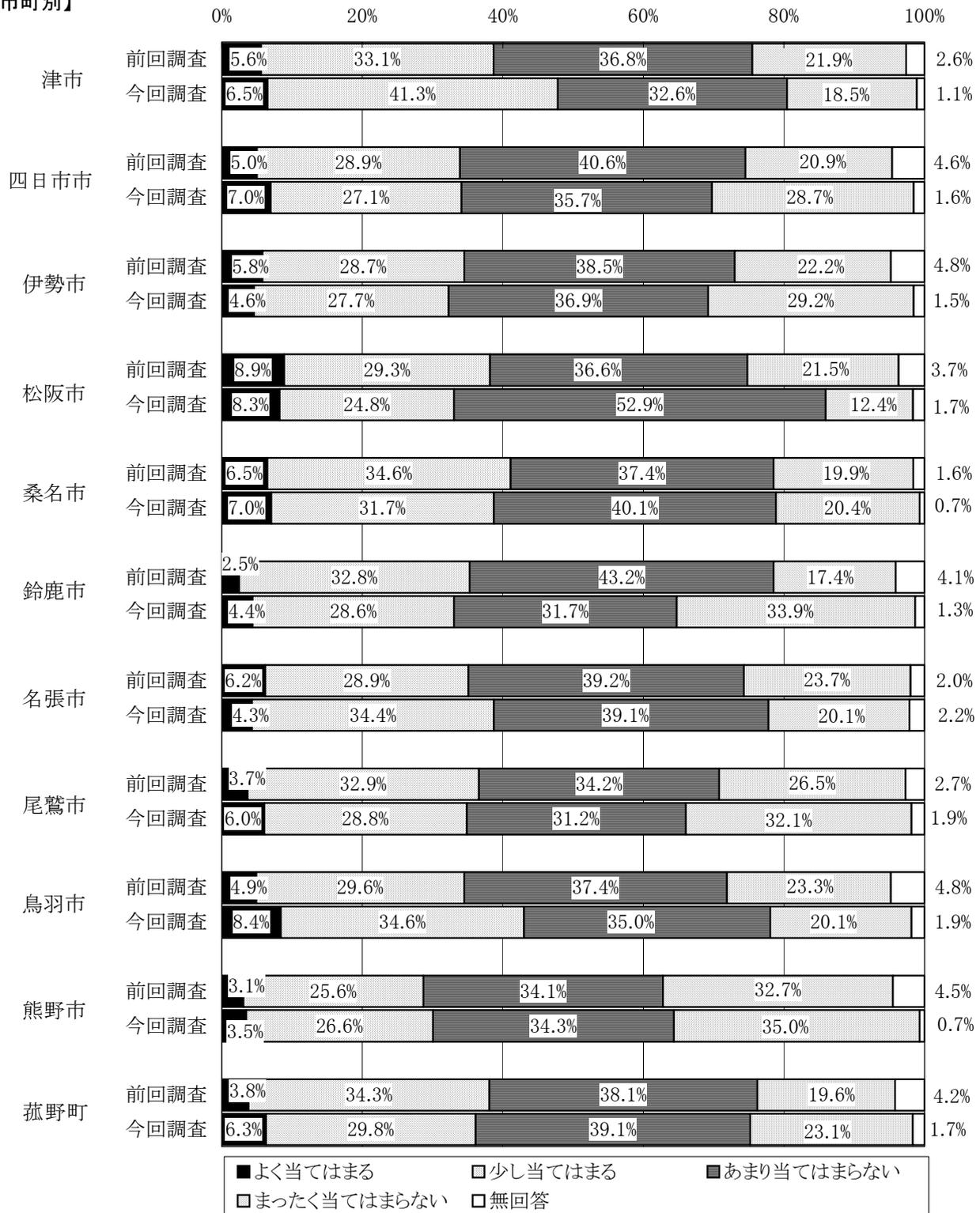
問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？(○は1つずつ)【回答者数:3,682】

(1)特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ



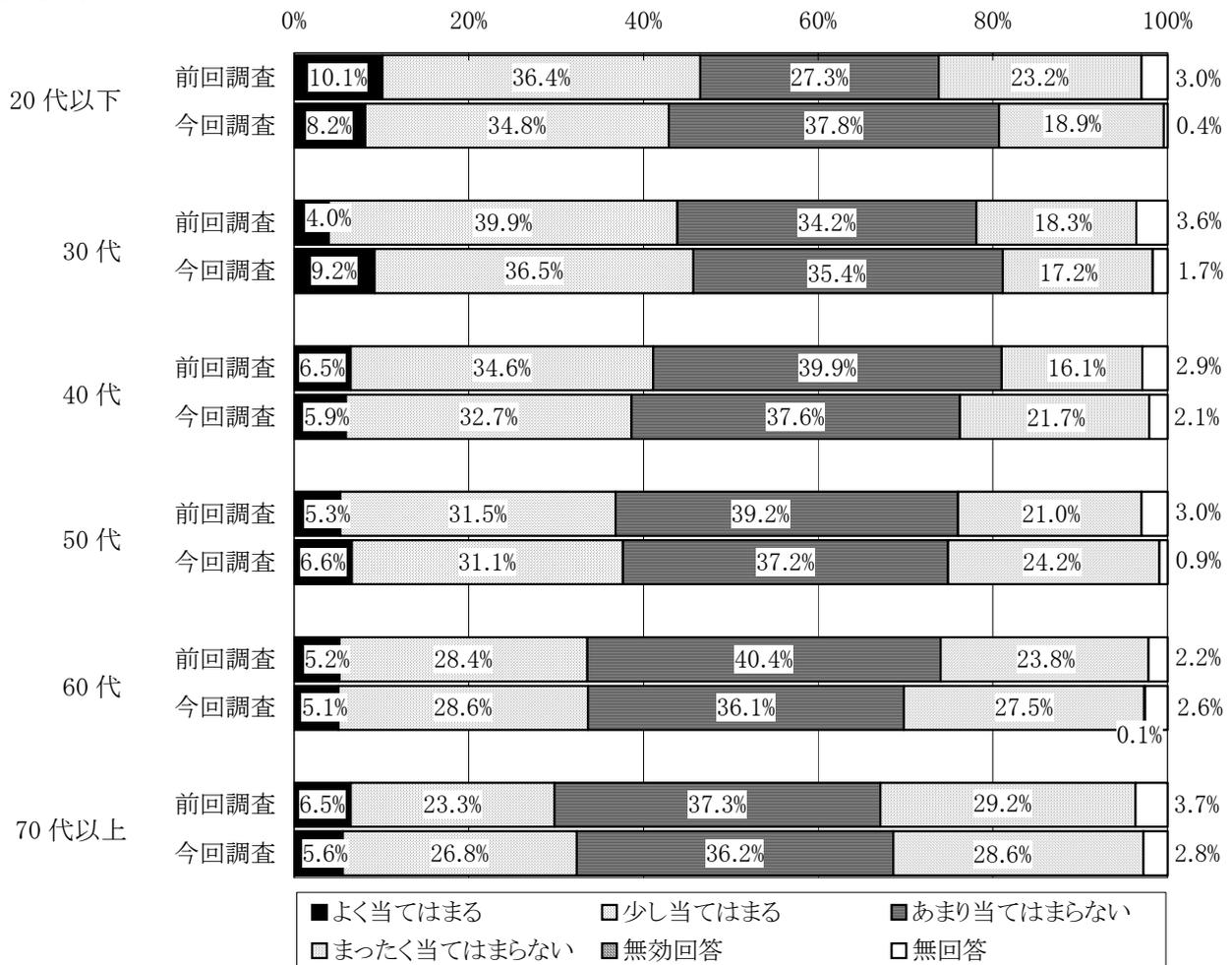
- 特価品や新商品の衝動買いについて、前回調査との比較で見ると、「よく当てはまる」が0.9ポイントと微増である。これに対して、「まったく当てはまらない」は1.9ポイントの増加となっている。

【市町別】



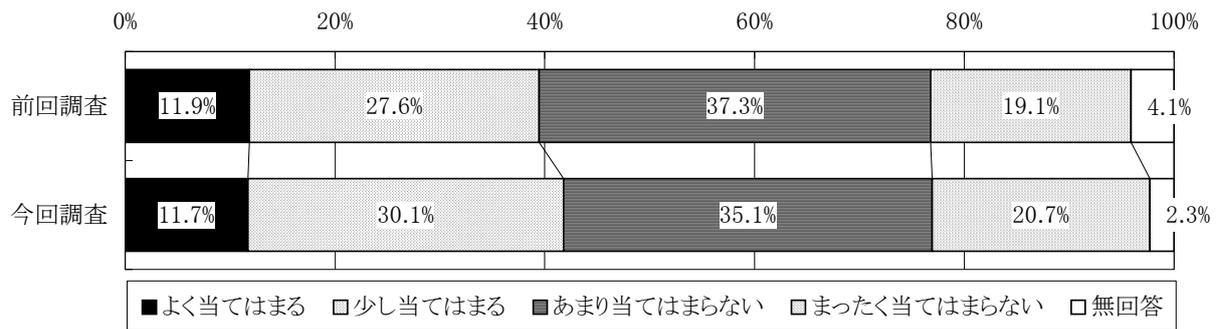
- ・ 市町別に見ると、「よく当てはまる」は鳥羽市で 3.5 ポイント増加しているほかは大きな増減は見られない。
- ・ 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、津市と鳥羽市で増加しているのに対して、松阪市などではやや減少傾向となっている。
- ・ 「まったく当てはまらない」は、鈴鹿市で 16.5 ポイント増となっているのをはじめ、四日市市で 7.8 ポイント増、伊勢市で 7.0 ポイント増、尾鷲市で 5.6 ポイント増となっているのに対して、松阪市では 9.1 ポイントと大きく減少している。

【年齢別】



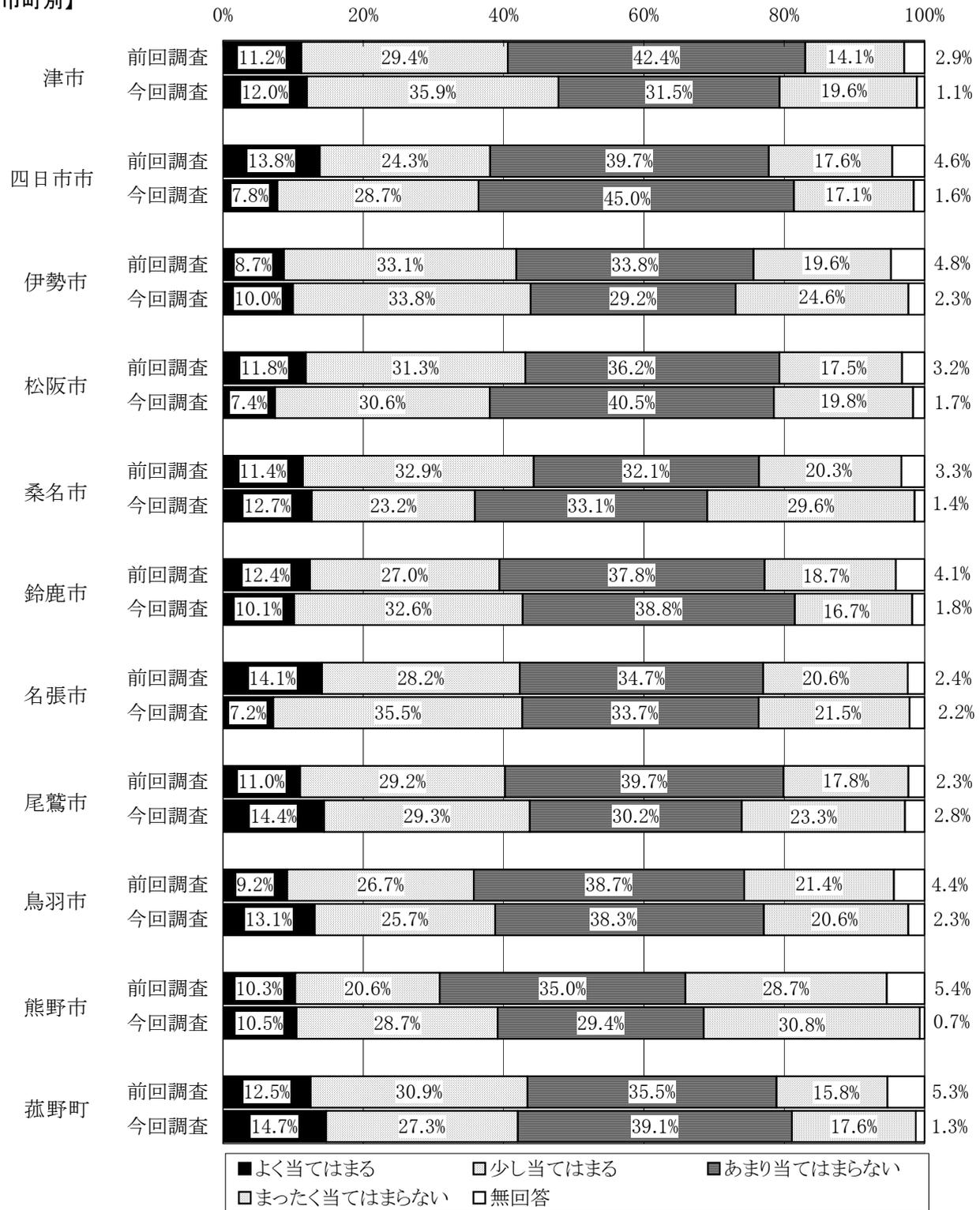
- 年齢別に見ると、「よく当てはまる」は30代で5.2ポイント増加しているほかは大きな増減は見られない。
- 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、20代以下と40代でやや減少傾向となっている。
- 「まったく当てはまらない」は、40代で5.6ポイントの増加となっているのに対して、20代以下では4.3ポイントの減少となっている。

(2)買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える



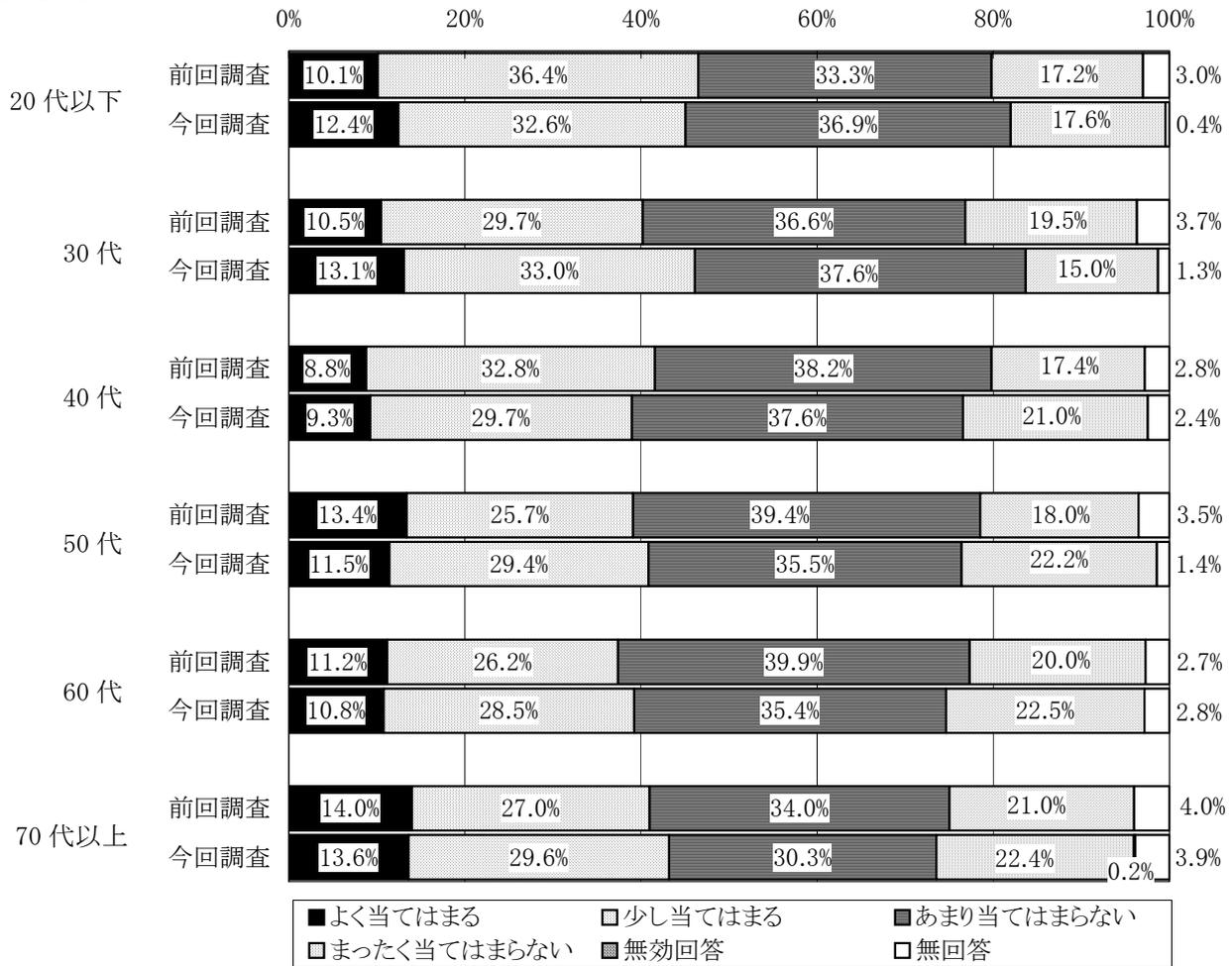
- 修理より買い替え志向について、前回調査との比較で見ると、「よく当てはまる」はほとんど変化がない。「少し当てはまる」がやや増加しているため、両方を合わせた割合は39.5%から41.8%へと2.3ポイントの増加となっている。

【市町別】



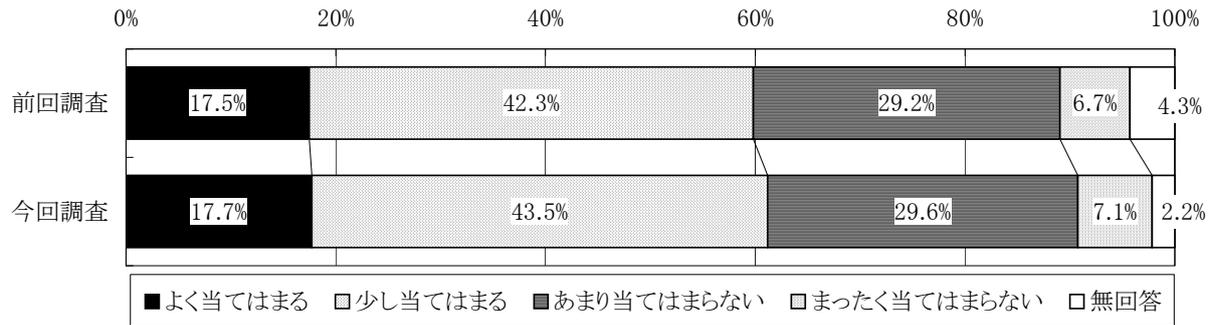
- 市町別に見ると、「よく当てはまる」は名張市で6.9ポイント、四日市市で6.0ポイント、松阪市で4.4ポイントの減少となっている。
- 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、熊野市や津市で増加しているのに対して、桑名市や松阪市では減少傾向となっている。
- 「まったく当てはまらない」は、桑名市で9.3ポイント増となっているのをはじめ、津市と尾鷲市で5.5ポイント、伊勢市で5.0ポイントの増加となっている。

【年齢別】



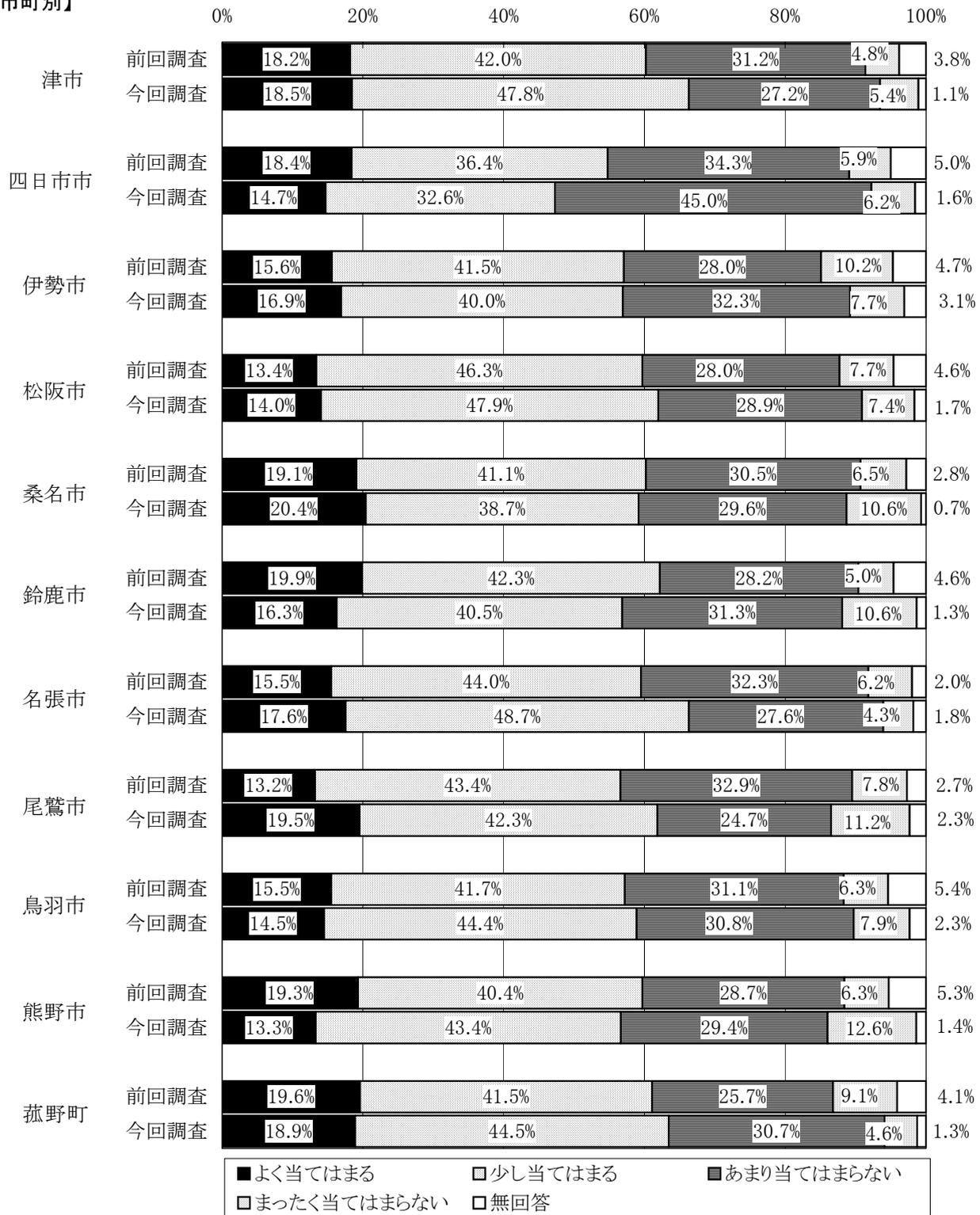
- 年齢別に見ると、「よく当てはまる」については大きな増減は見られないが、「少し当てはまる」を合わせると、30代でやや増加傾向となっている。
- 「まったく当てはまらない」は、どの年齢層でも微増傾向にある中で、30代のみが減少となっている。

(3)お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ



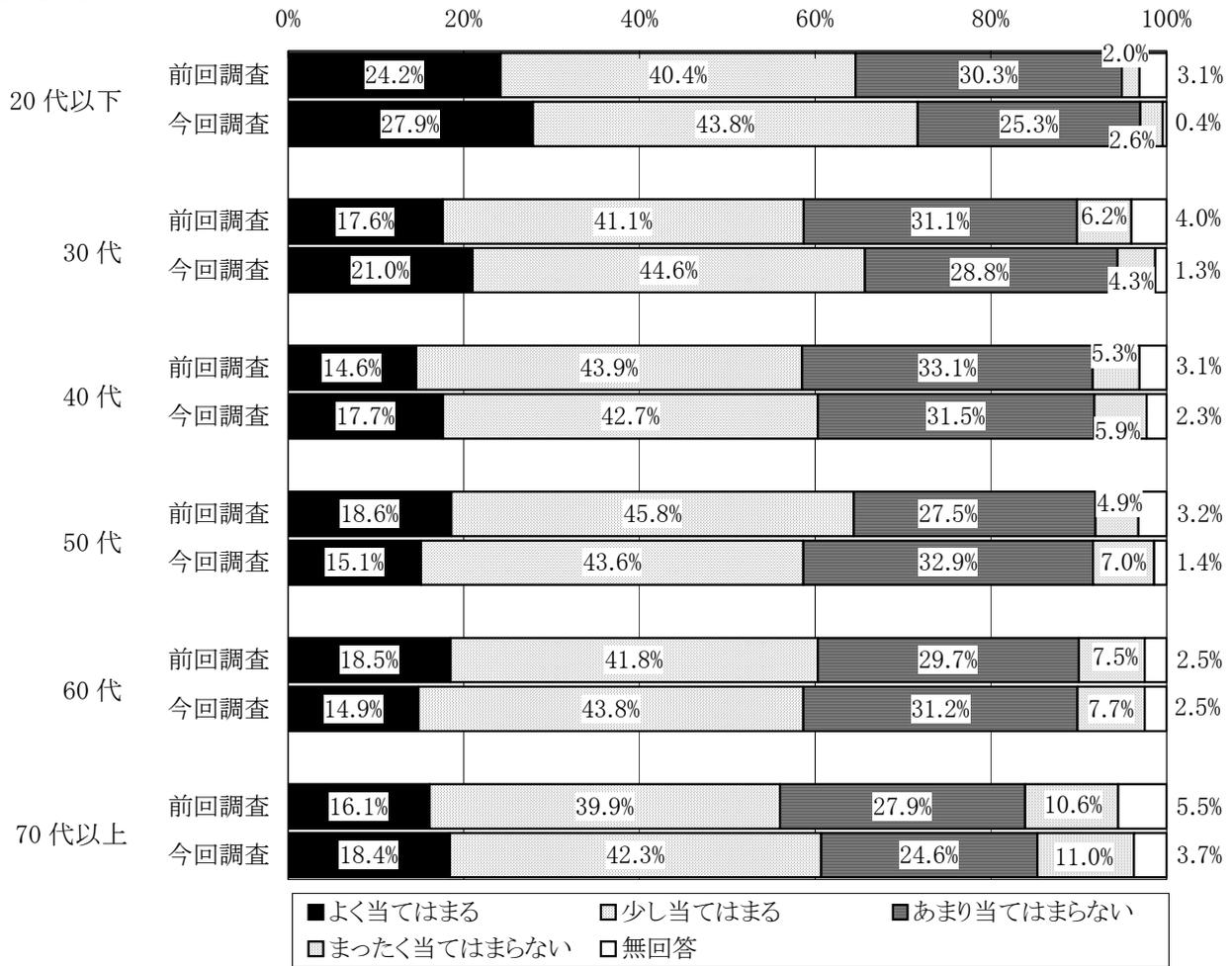
- 「環境やごみのことを考えずに商品を選ぶか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「よく当てはまる」はほとんど変化がない。「少し当てはまる」がやや増加しているため、両方を合わせた割合は、59.8%から 61.2%へと1.4ポイントの増加となっている。

【市町別】



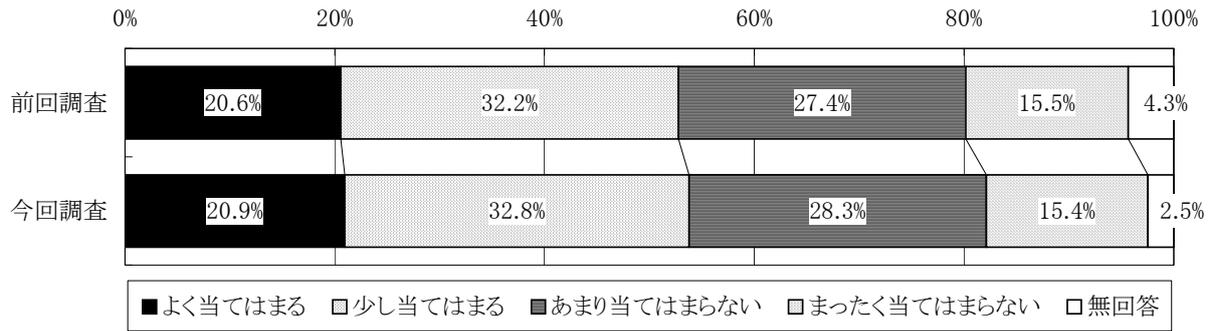
- 市町別に見ると、「よく当てはまる」は尾鷲市で6.3ポイント増となっているのに対して、熊野市では6.0ポイント減、四日市市では3.7ポイント減、鈴鹿市では3.6ポイント減となっている。
- 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、津市、名張市、尾鷲市などで増加しているのに対して、四日市市や鈴鹿市では減少傾向となっている。
- 「まったく当てはまらない」は、熊野市、鈴鹿市、桑名市、尾鷲市でやや増加している。

【年齢別】



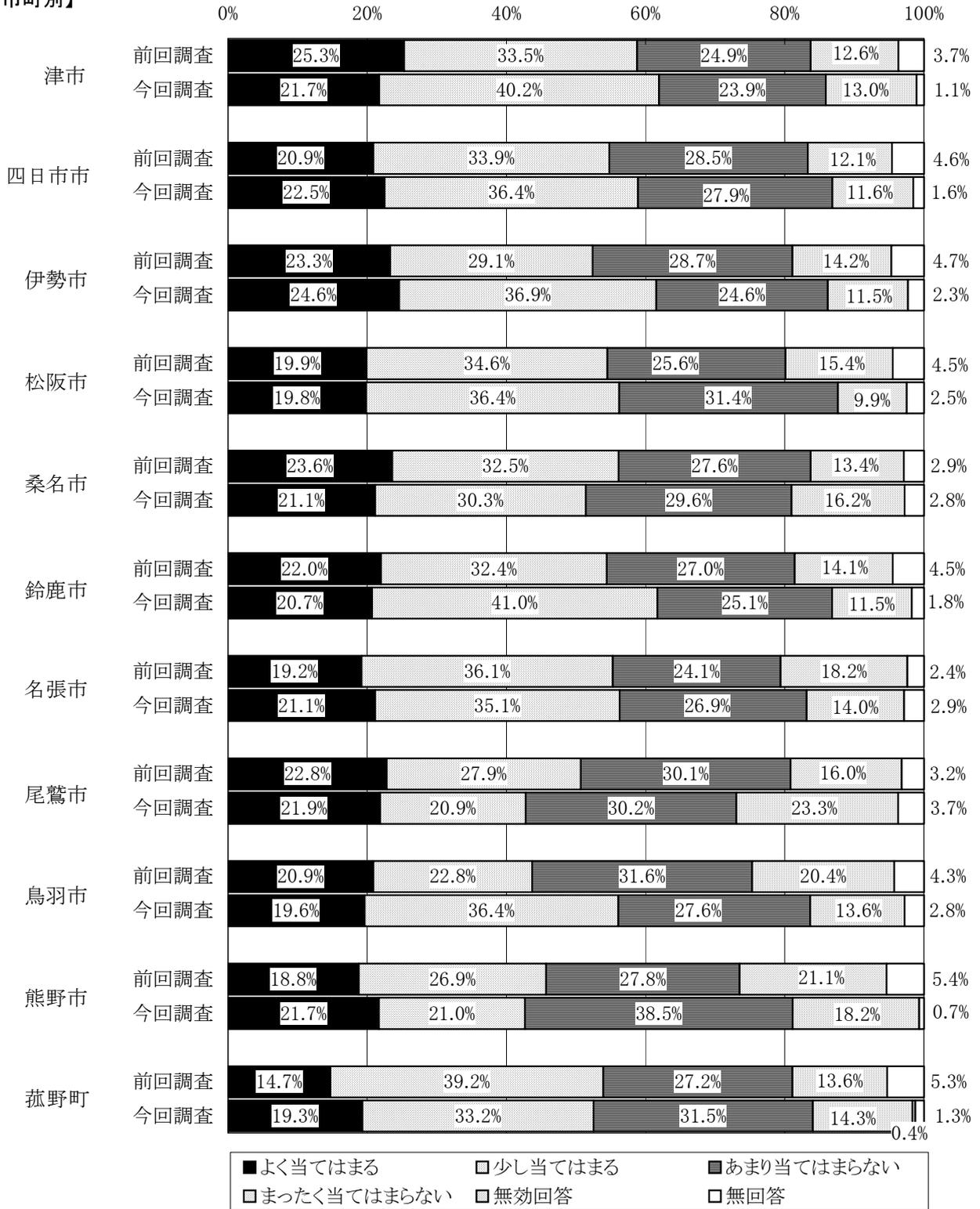
- 年齢別に見ると、「よく当てはまる」は40代以下の若い世代で増加、50代、60代で減少傾向が見られる。
- 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、20代以下と30代で約7ポイント増加している。

(4)一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する



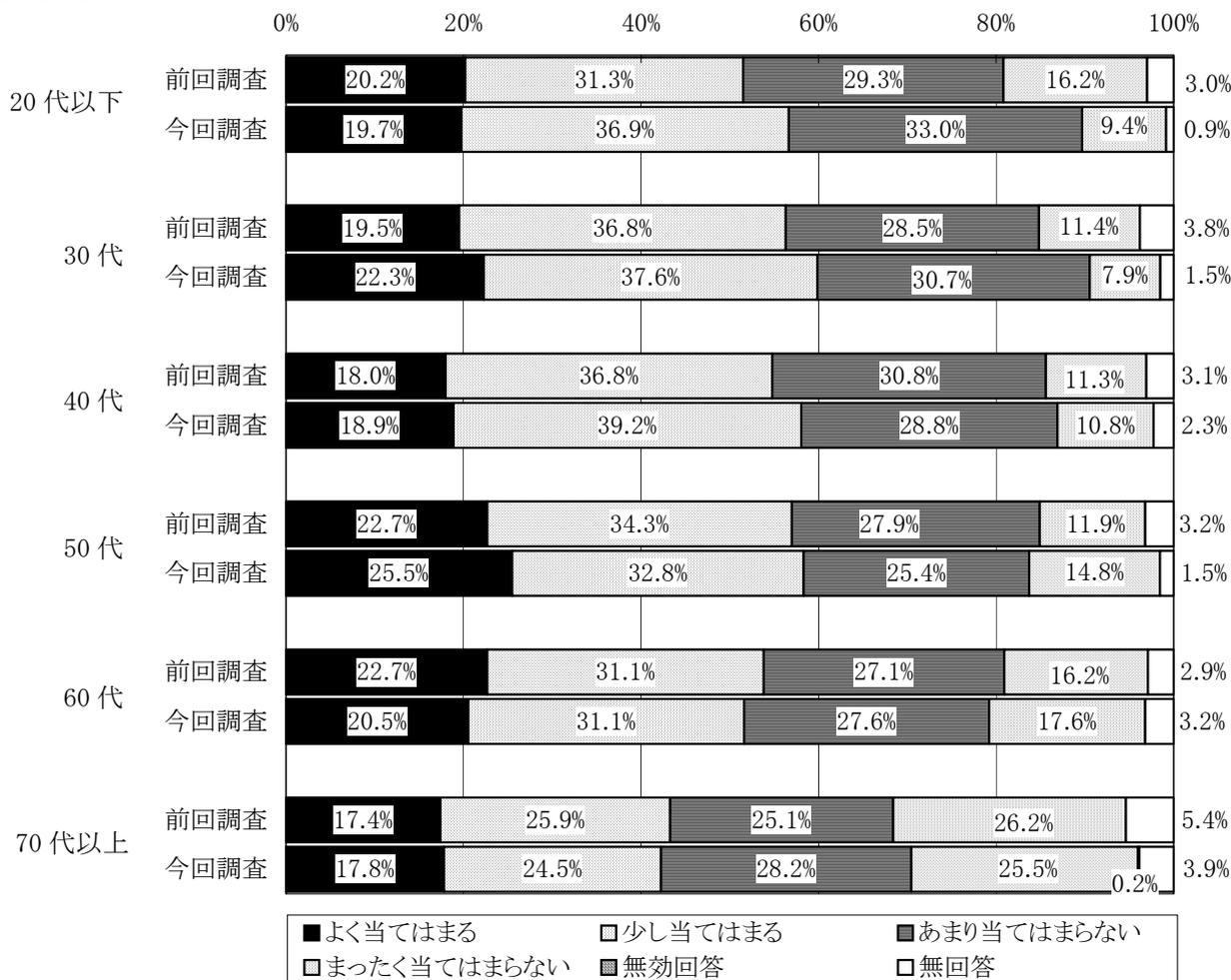
- レンタル品等より新品という志向について、前回調査との比較で見ると、「よく当てはまる」、「少し当てはまる」を合わせた割合は、52.8%から53.7%へと0.9ポイントの微増となっている。

【市町別】



- 市町別に見ると、「よく当てはまる」は菰野町で 4.6 ポイント増加、津市で 3.6 ポイント減少しているほかは大きな増減は見られない。
- 「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、鳥羽市、伊勢市、鈴鹿市で大幅に増加しているのに対して、尾鷲市や桑名市などでは減少傾向となっている。
- 「まったく当てはまらない」は、尾鷲市で 7.3 ポイント増加しているのに対して、鳥羽市で 6.8 ポイント減、松阪市で 5.5 ポイント減、名張市で 4.2 ポイント減となっている。

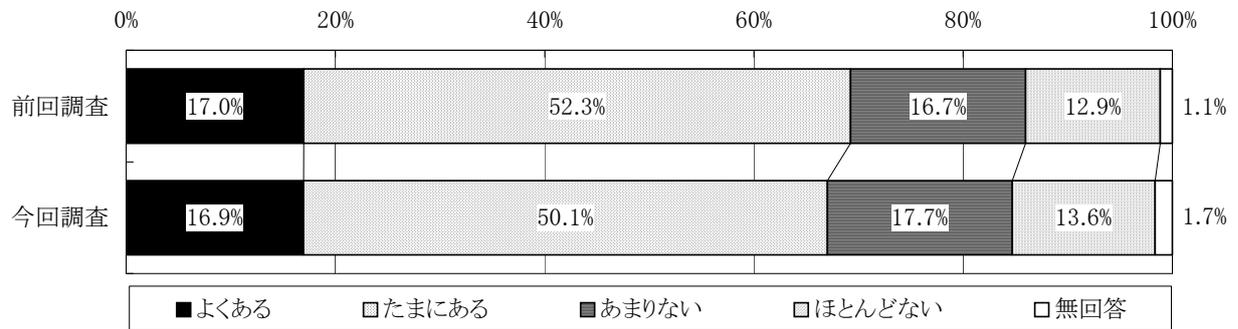
【年齢別】



- 年齢別に見ると、「よく当てはまる」については大きな増減は見られないが、「よく当てはまる」と「少し当てはまる」を合わせると、若い世代ほど増加傾向にある。
- 「まったく当てはまらない」は、20代以下で6.8ポイント減、30代で3.5ポイント減となっている。

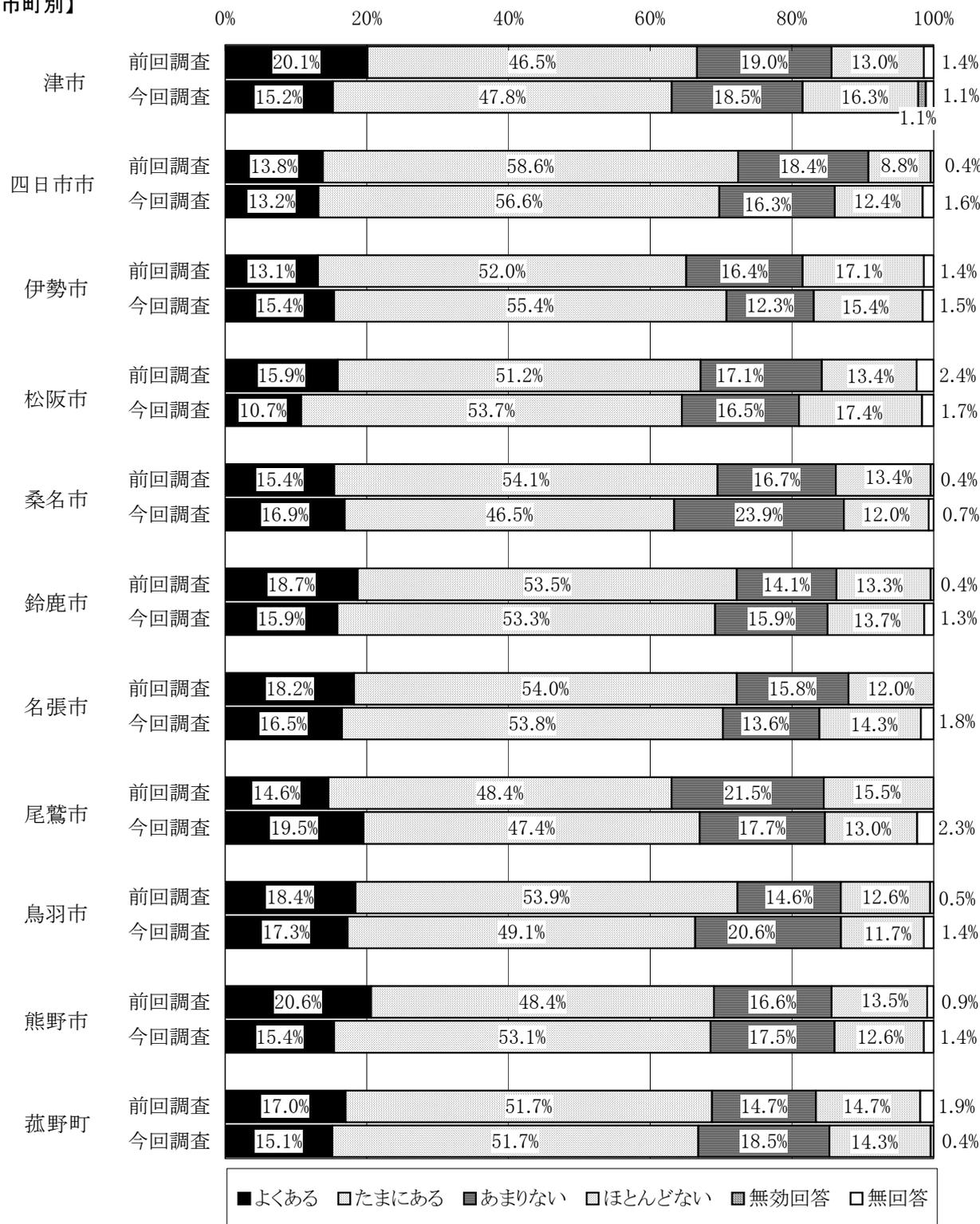
問3 食べ物のごみについてお聞きします。(〇は1つずつ) 【回答者数:3,682】

(1)使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？



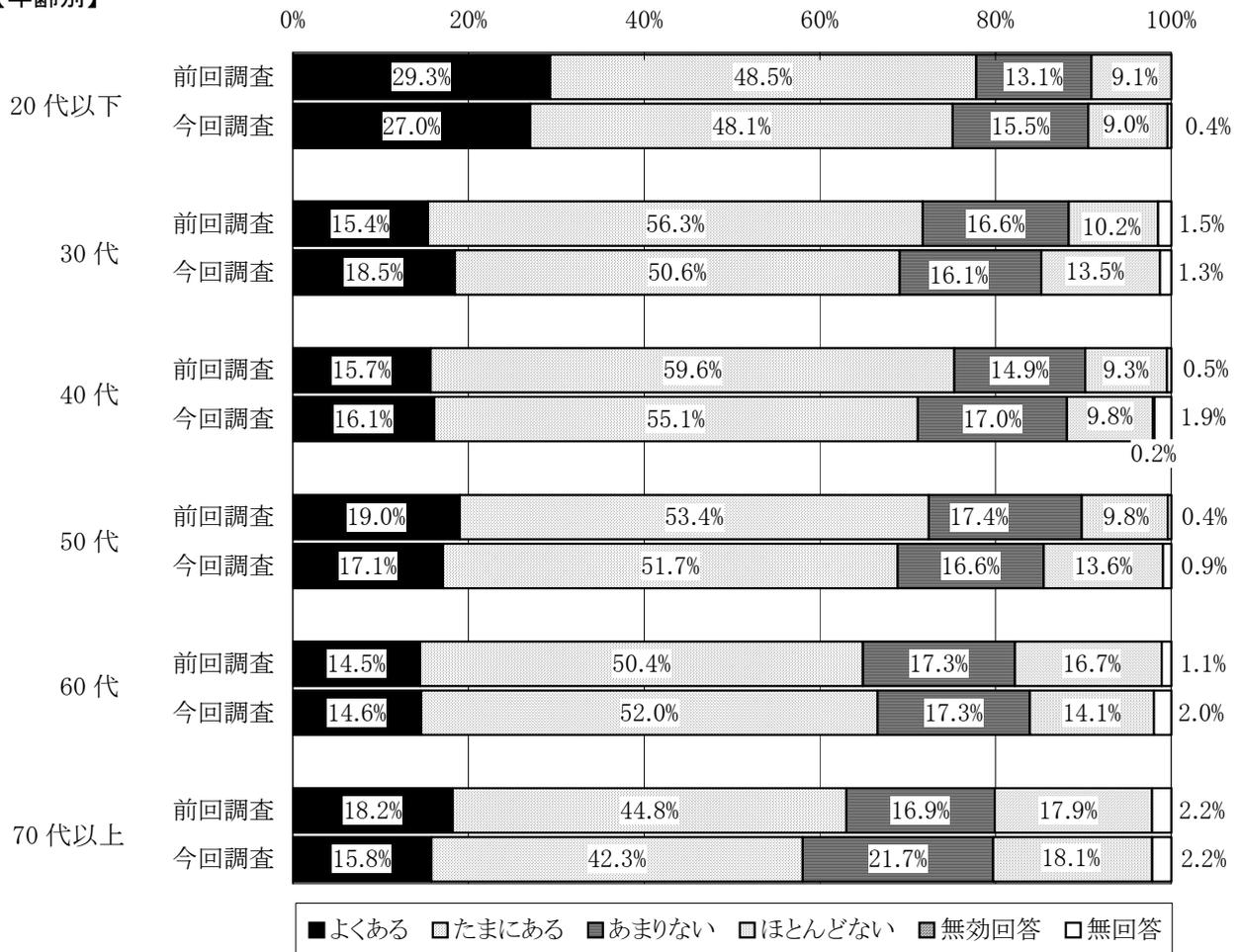
- 賞味期限切れ等による食材廃棄について、前回調査との比較で見ると、「よくある」はほとんど変化がない。「たまにある」がやや減少しており、両方を合わせた割合は、69.3%から67.0%へと2.3ポイントの減少となっている。
- 逆に「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた割合は、29.6%から31.3%へと1.7ポイントの増加となっている。

【市町別】



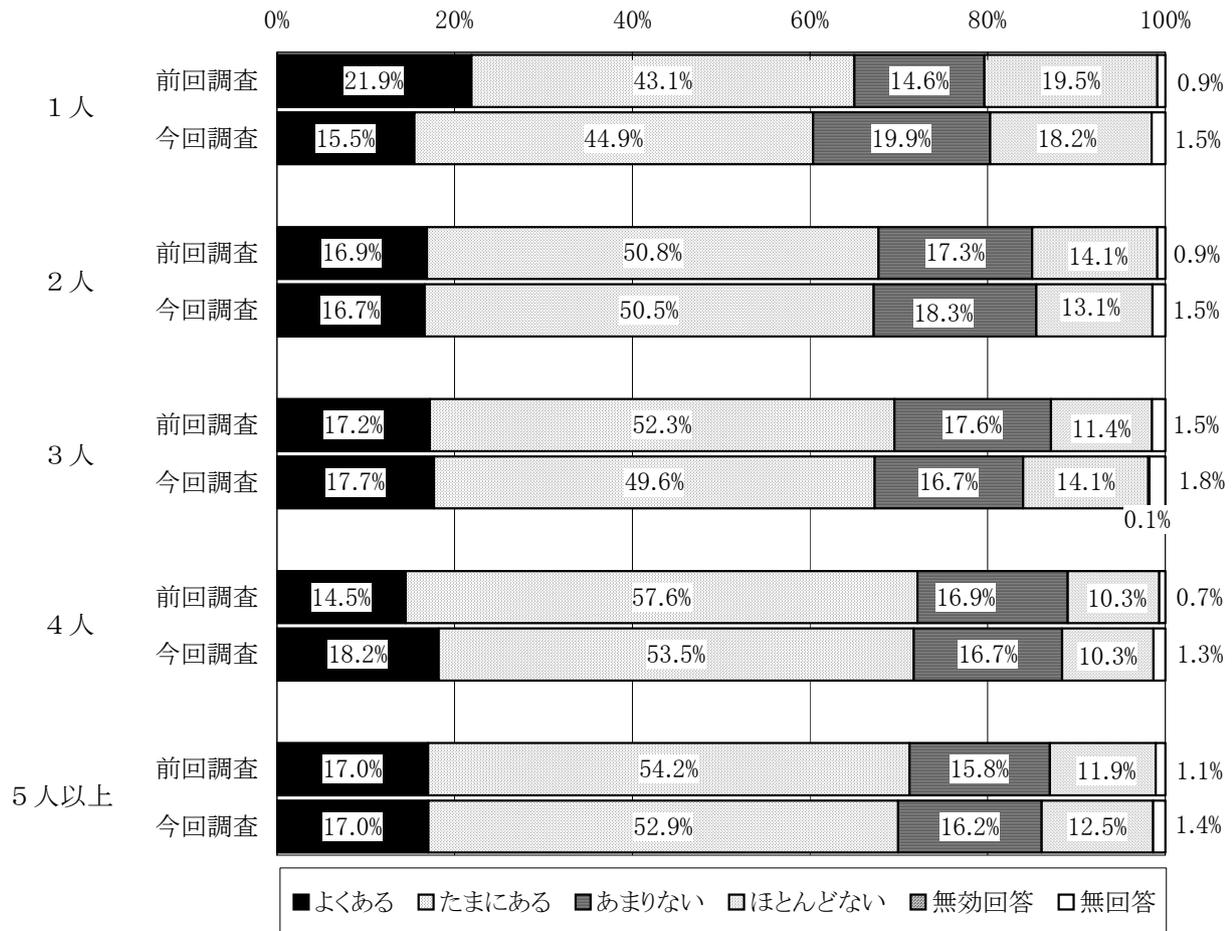
- 市町別に見ると、「よくある」は尾鷲市で4.9ポイント増加しているのに対して、松阪市と熊野市で5.2ポイント減、津市で4.9ポイント減となっている。
- 「よくある」と「たまにある」を合わせると、伊勢市と尾鷲市で増加しているほかは、すべて減少傾向となっている。
- 「ほとんどない」は、松阪市や四日市市、津市でやや増加している。

【年齢別】



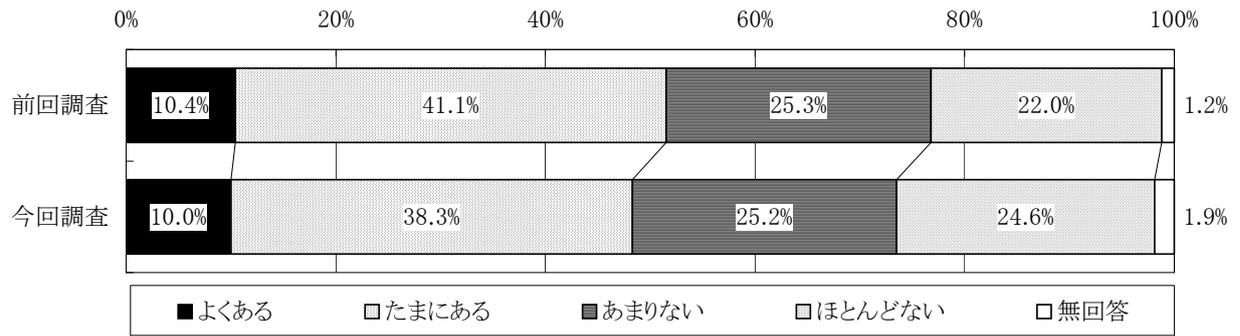
- 年齢別に見ると、「よくある」は30代で3.1ポイント増加しているほかは変化がないか、減少傾向にあり、「たまにある」を合わせても、ほとんどの年齢層で減少傾向となっている。
- 「ほとんどない」は、30代と50代でやや増加している。

【世帯人数別】



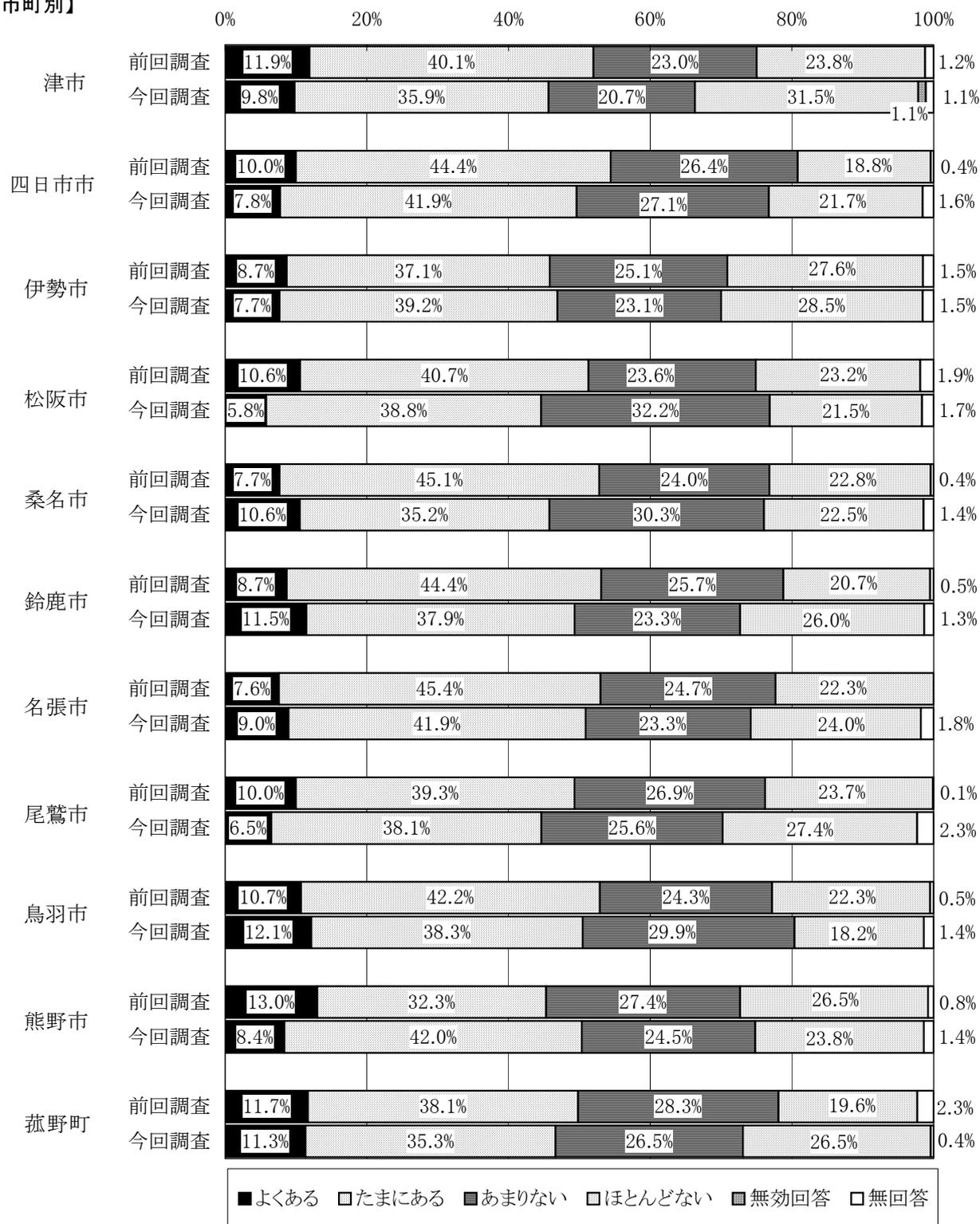
- 世帯人数別に見ると、「よくある」は4人世帯で3.7ポイント増となっているのに対して、1人世帯では6.4ポイントの減少となっている。
- 「よくある」と「たまにある」を合わせると、1人世帯でやや減少しているほかは、大きな変化は見られない。

(2)食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？



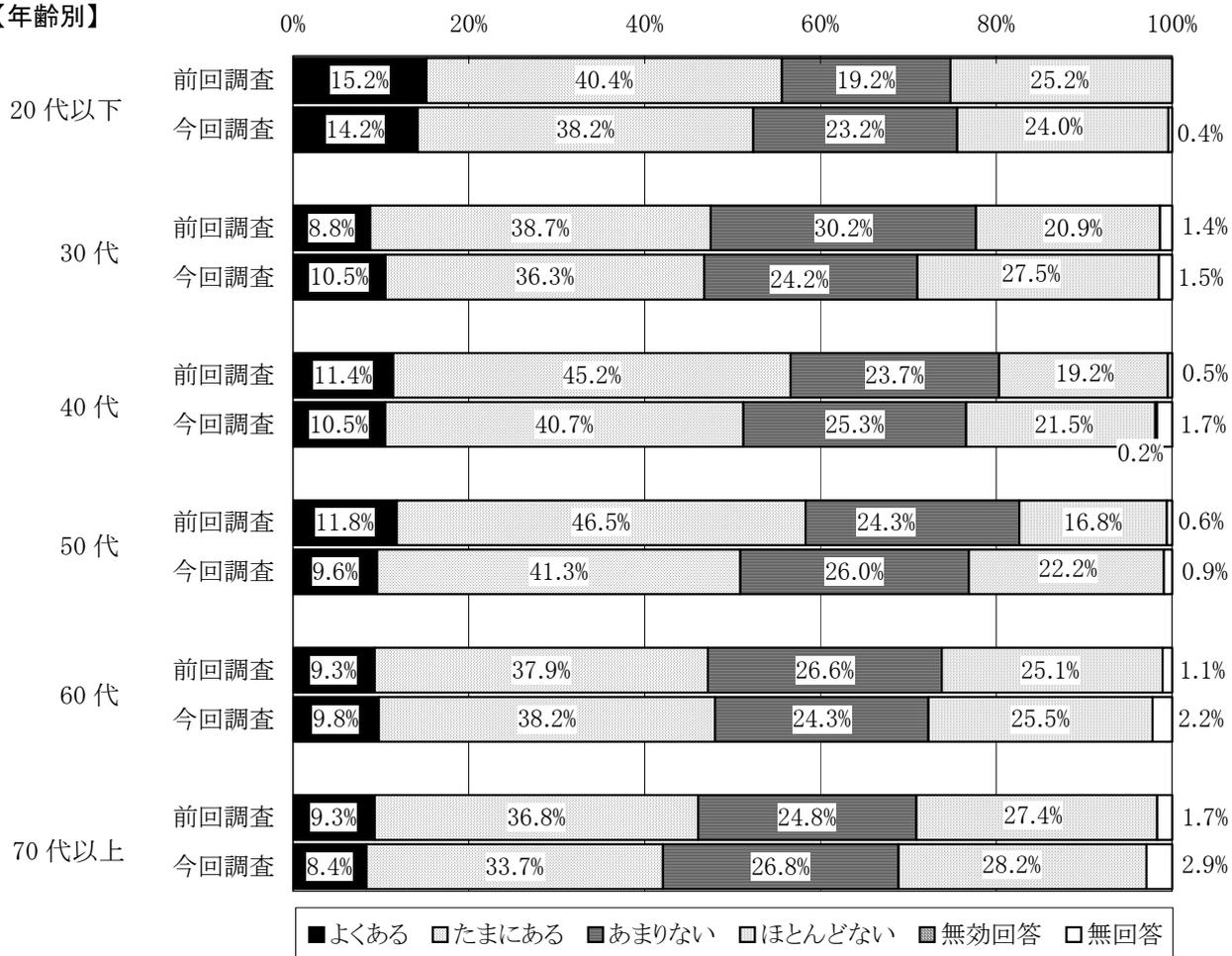
- 食べ残しによる食品廃棄について、前回調査との比較で見ると、「よくある」はほとんど変化がない。「たまにある」がやや減少しており、両方を合わせた割合は51.5%から48.3%へと3.2ポイントの減少となっている。
- 逆に「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた割合は、47.3%から49.8%へと2.5ポイントの増加となっている。

【市町別】



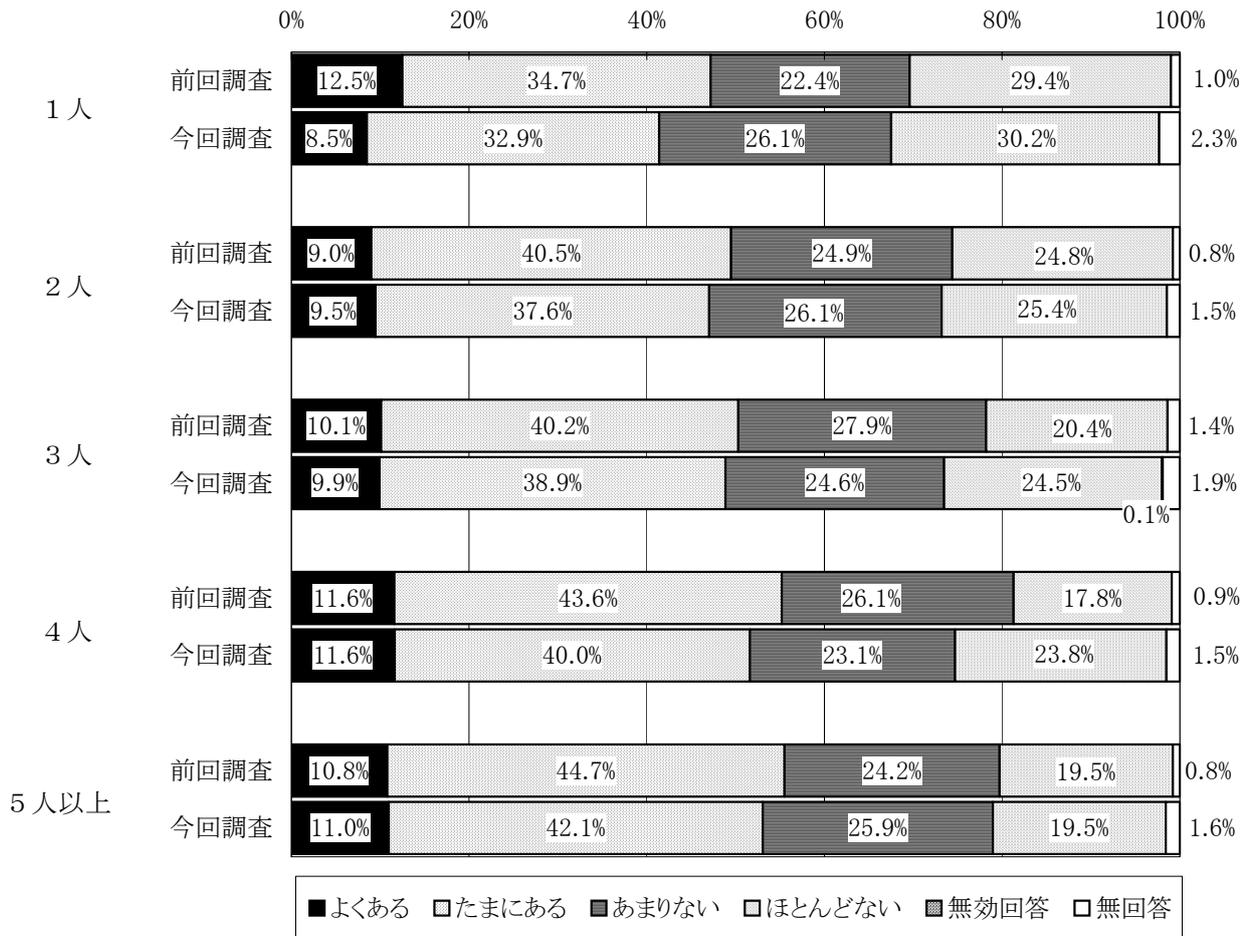
- ・ 市町別に見ると、「よくある」は松阪市で 4.8 ポイント減、熊野市で 4.6 ポイント減、尾鷲市で 3.5 ポイント減となっているほかは、大きな変化は見られない。
- ・ 「よくある」と「たまにある」を合わせると、熊野市で増加しているほかは、すべて減少傾向となっている。
- ・ 「ほとんどない」は、津市で 7.7 ポイント増、菰野町で 6.9 ポイント増、鈴鹿市で 5.3 ポイント増となっているのに対して、鳥羽市では 4.1 ポイントの減少となっている。

【年齢別】



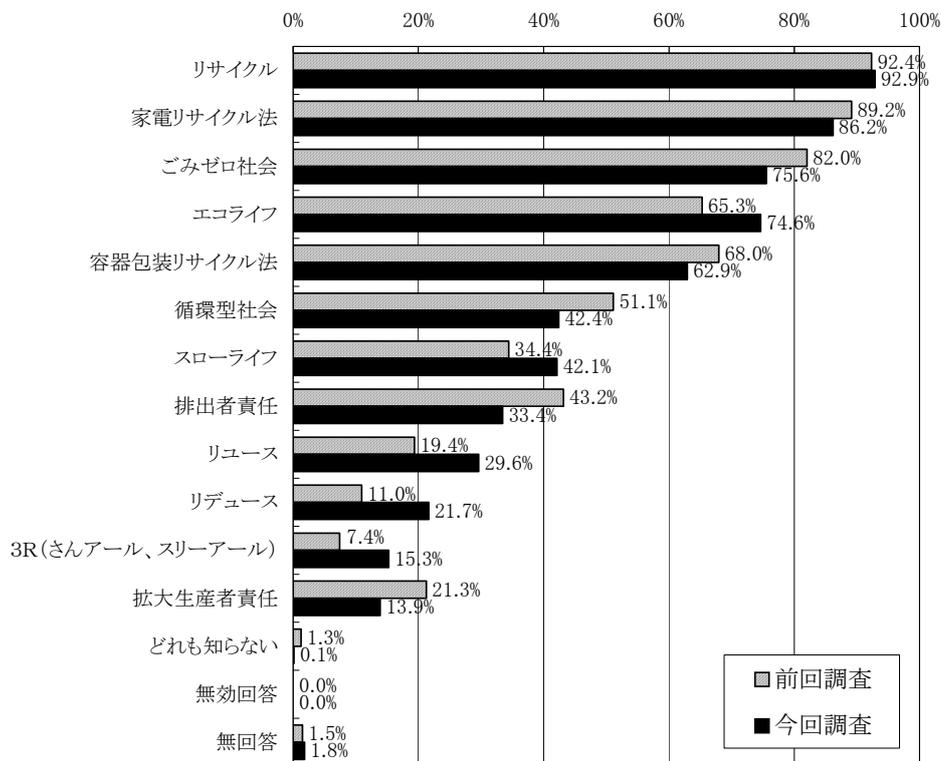
- 年齢別に見ると、「よくある」はどの年齢層でもほとんど変化がないが、「たまにある」を合わせると減少傾向となっている。
- 「ほとんどない」は、30代、40代、50代でやや増加している。

【世帯人数別】



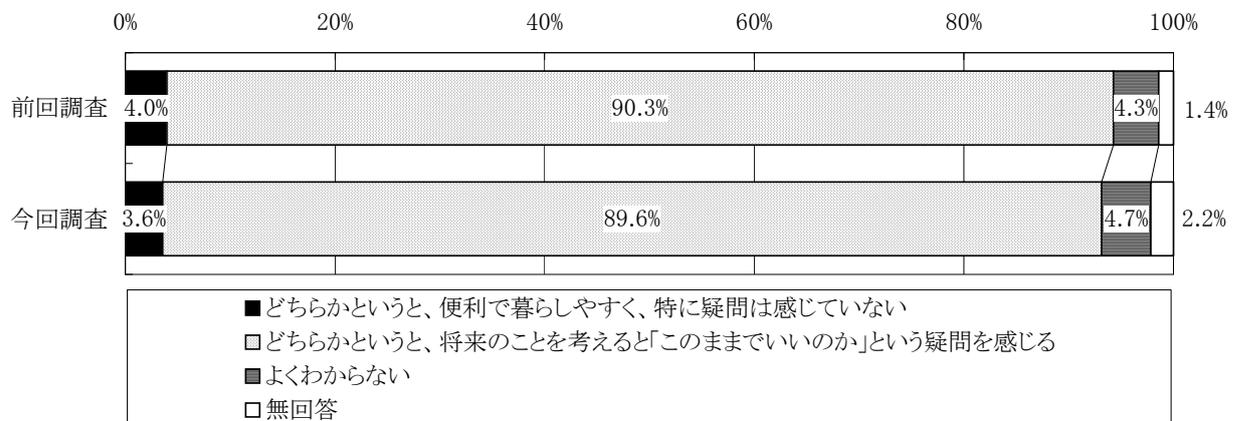
- 世帯人数別に見ると、「よくある」は1人世帯で4.0ポイント減少しているほかは、ほとんど変化がない。
- 「よくある」と「たまにある」を合わせると、すべての世帯人数で減少傾向が見られる。
- 「ほとんどない」は、3人世帯、4人世帯で増加している。

問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？(○はいくつでも) 【回答者数:3,682】



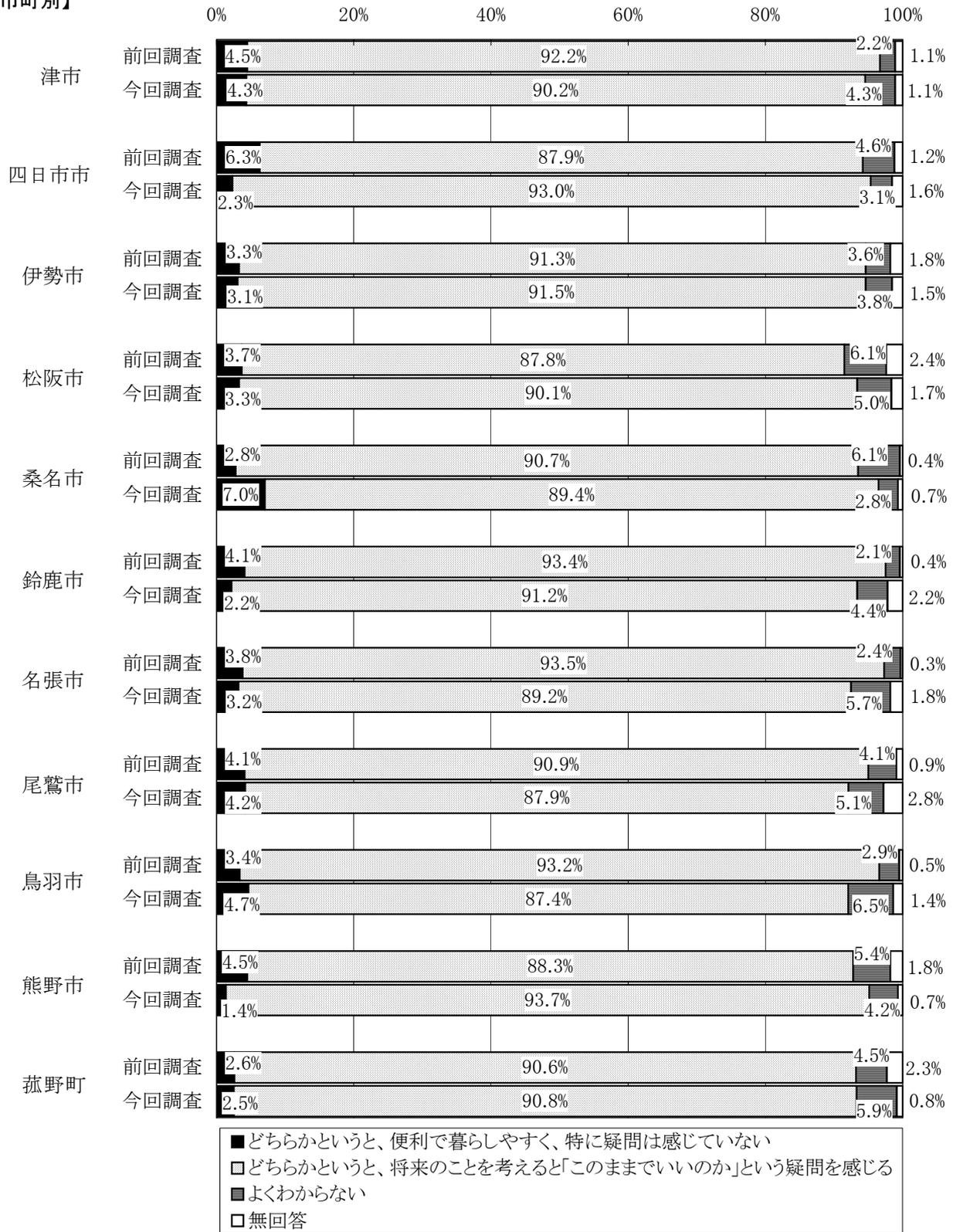
- 前回調査ですでに 92.4%と認知度の高かった「リサイクル」は、今回調査でもほとんど変化がなく、92.9%となっている。
- 前回調査と比べて認知度が上がっているのは、「リデュース」の 10.7 ポイント増、「リユース」の 10.2 ポイント増、「エコライフ」の 9.3 ポイント増、「3R」の 7.9 ポイント増、「スローライフ」の 7.7 ポイント増で、逆に認知度が下がっているのは、「排出者責任」の 9.8 ポイント減、「循環型社会」の 8.7 ポイント減、「拡大生産者責任」の 7.4 ポイント減などである。

問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？(もっとも考えの近いもの1つに○) 【回答者数:3,682】



・ 使い捨て社会への危機感については、前回調査と比べて特に大きな変化はなく、「どちらかという、将来のことを考えると『このままでいいのか』という疑問を感じる」が今回調査でも大半を占めている。

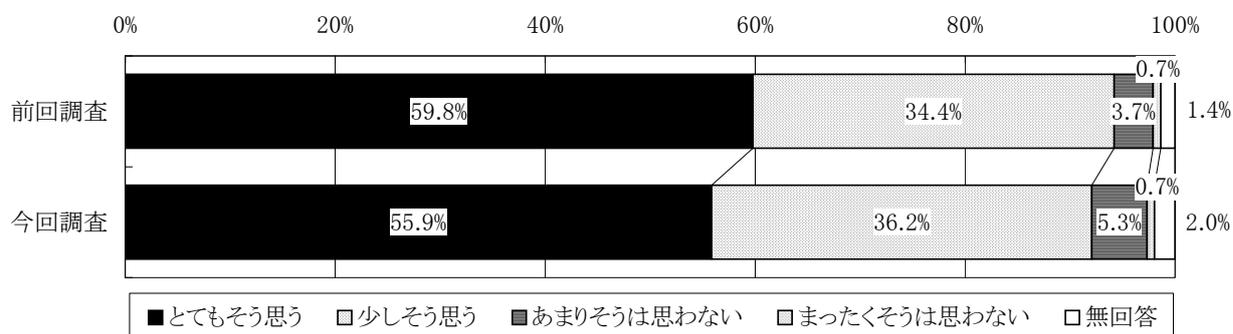
【市町別】



- 市町別に見ると、どの市町も「どちらかという、将来のことを考えると『このままでいいのか』という疑問を感じる」が90%前後を占めており、前回調査と比べ大きな変化は見られない。
- 「どちらかという、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない」は、四日市市で 4.0 ポイント減、熊野市で 3.1 ポイント減となっているように、ほとんどの市町で変化がないか、減少傾向にある中、桑名市では 4.2 ポイントの増加となっている。

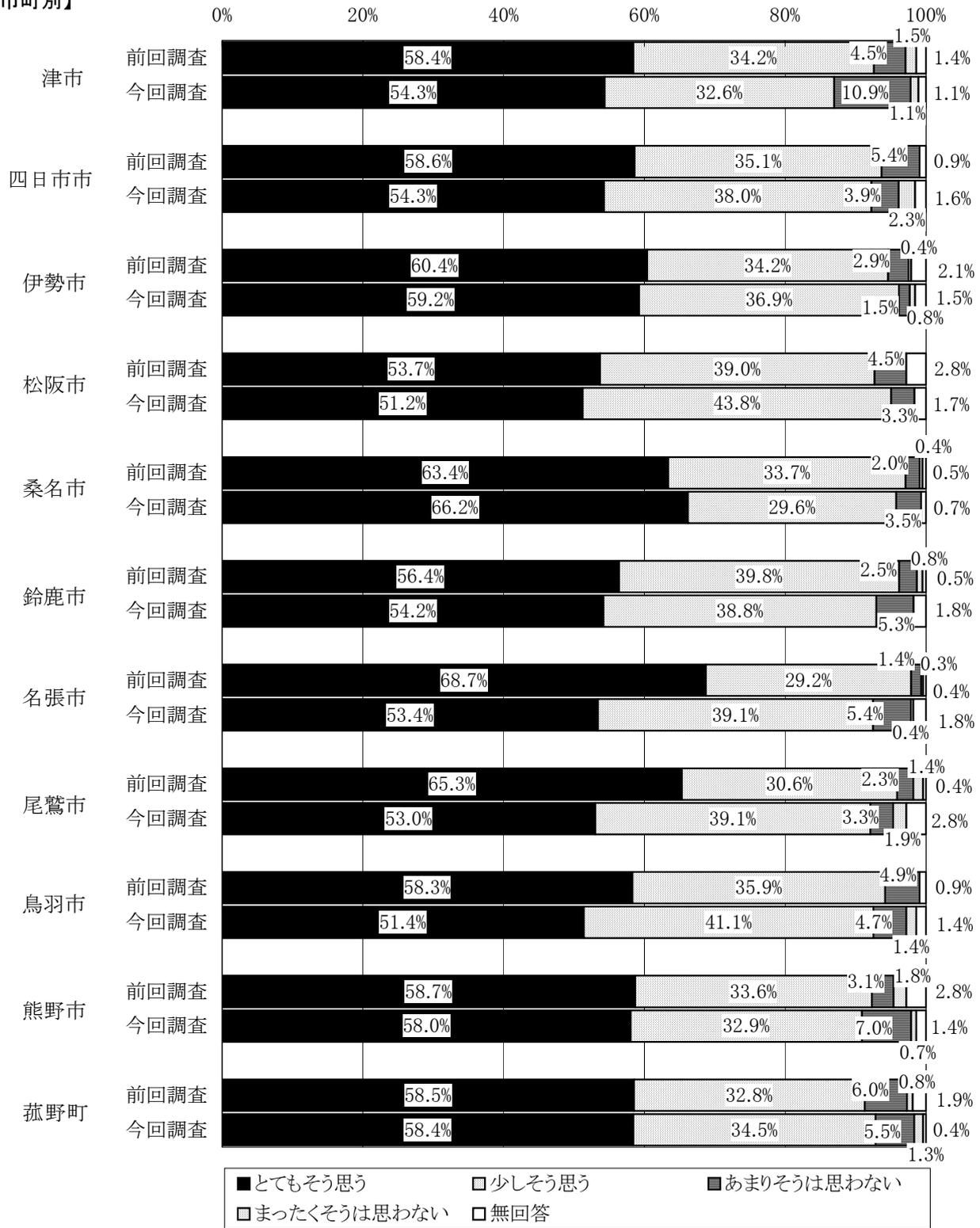
問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？(○は1つ)

【回答者数:3,682】



- ・「手間やコストをかけてでもごみを資源化すべきか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」が59.8%から55.9%へと、3.9ポイントの減少となっている。
- ・「あまりそうは思わない」は微増している。

【市町別】



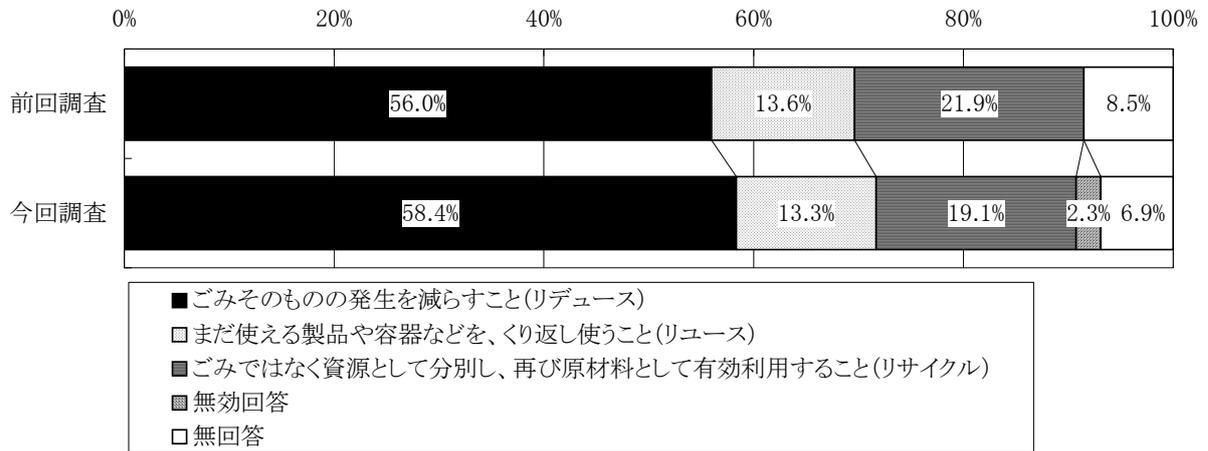
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は名張市で 15.3 ポイント減、尾鷲市で 12.3 ポイント減、鳥羽市で 6.9 ポイント減となっているのをはじめ、ほとんどの市町で減少している。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、今回調査でも前回調査と同様、ほとんどの市町で 90%以上を占めているが、津市と名張市ではやや減少傾向が見られる。

◎ 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？(それぞれの枠内に番号を記入)

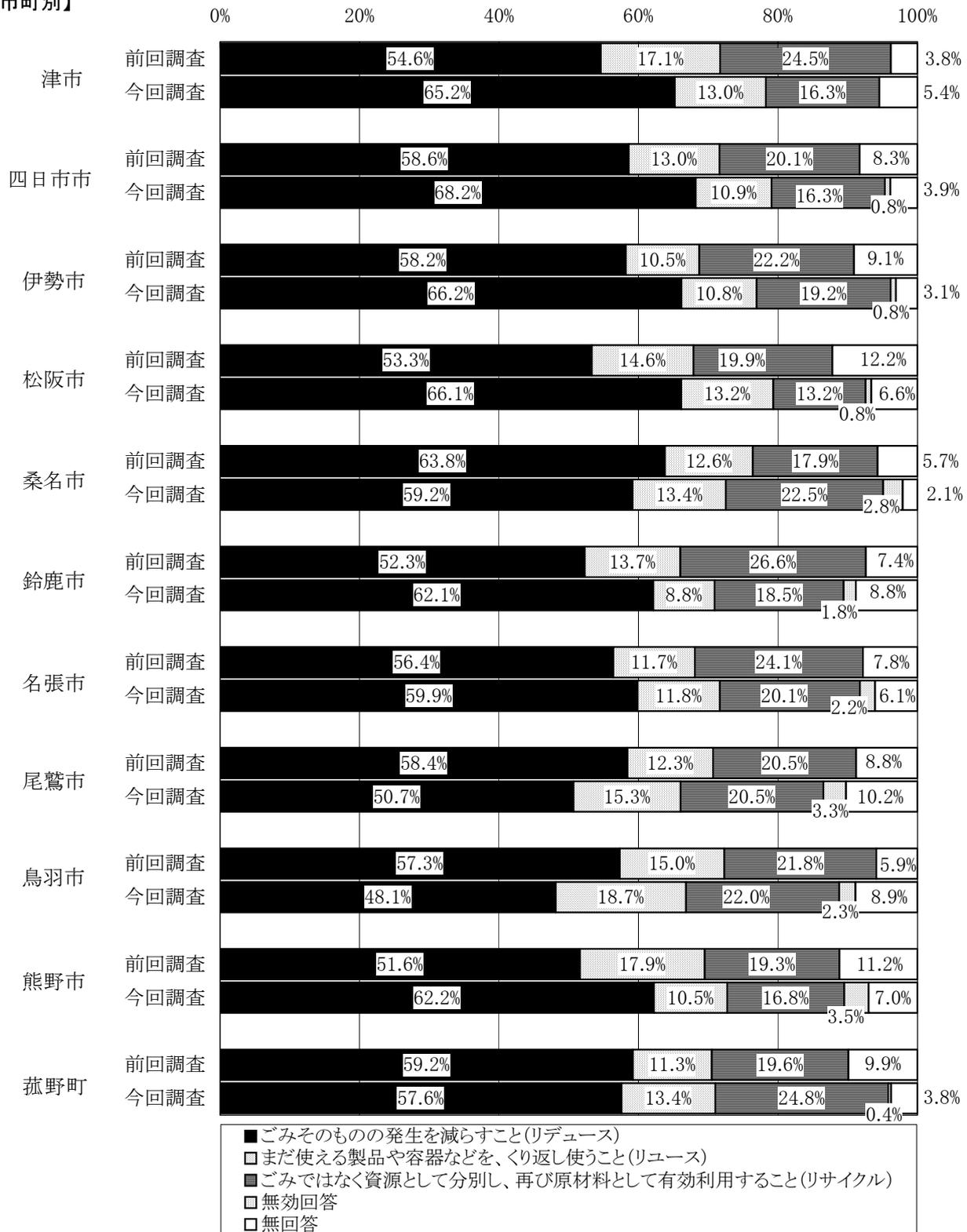
【回答者数: 3,682】

【最も大切だと思う】



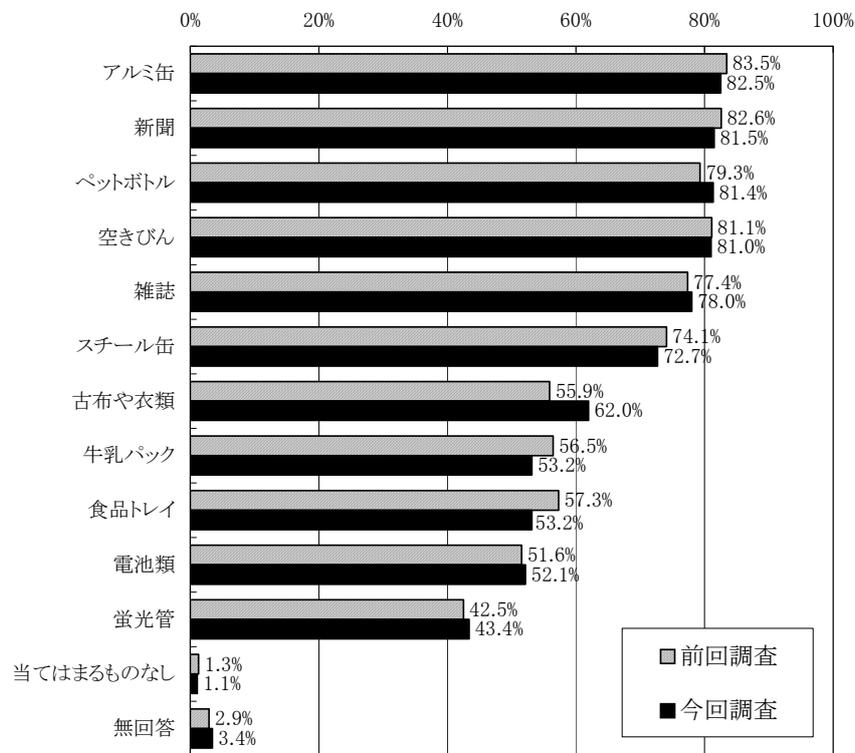
- ごみを減らす取り組みの中で最も大切だと思うことについて、前回調査との比較で見ると、「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」が 56.0%から 58.4%へと 2.4 ポイント増となっているのに対し、「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」は 21.9%から 19.1%へと 2.8 ポイントの減少となっている。

【市町別】



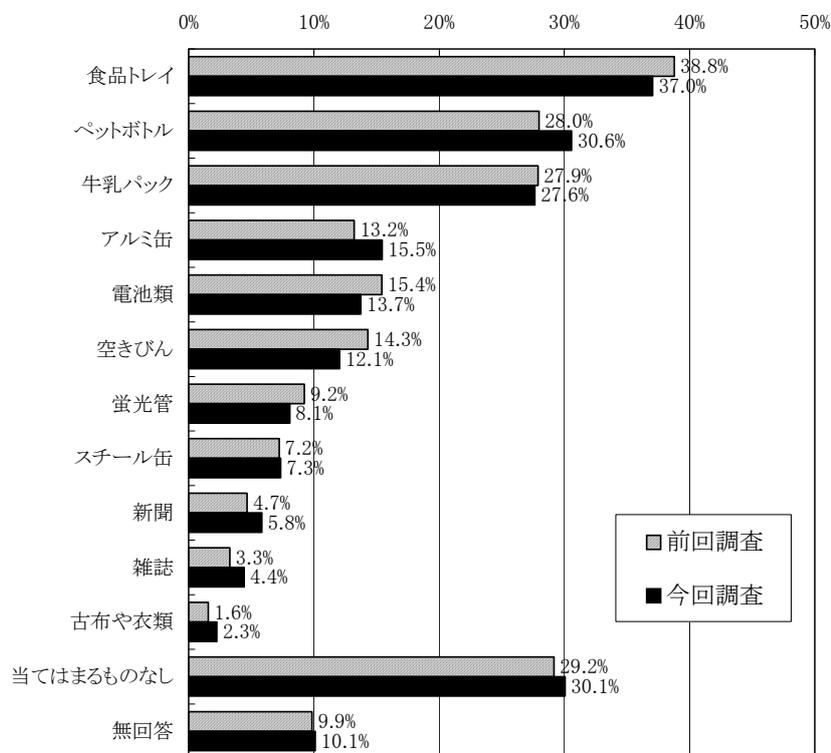
- 市町別に見ると、「ごみそのものの発生を減らすこと(リデュース)」は松阪市で 12.8 ポイント増、津市や熊野市で 10.6 ポイント増、鈴鹿市で 9.8 ポイント増、四日市市で 9.6 ポイント増、伊勢市で 8.0 ポイント増と、多くの市町で増加している中、鳥羽市、尾鷲市、桑名市では逆に減少傾向が見られる。
- 「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと(リユース)」は、鳥羽市で 3.7 ポイント増、尾鷲市で 3.0 ポイント増であるのに対して、熊野市では 7.4 ポイント減、鈴鹿市では 4.9 ポイント減、津市では 4.1 ポイント減となっている。
- 「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること(リサイクル)」は、菟野町で 5.2 ポイント増、桑名市で 4.6 ポイント増となっているほかは、津市で 8.2 ポイント減、鈴鹿市で 8.1 ポイント減、松阪市で 6.7 ポイント減など、ほとんどの市町で変化なし、又は減少傾向となっている。

問8 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？  
 (当てはまるものすべてに○) 【回答者数:3,682】



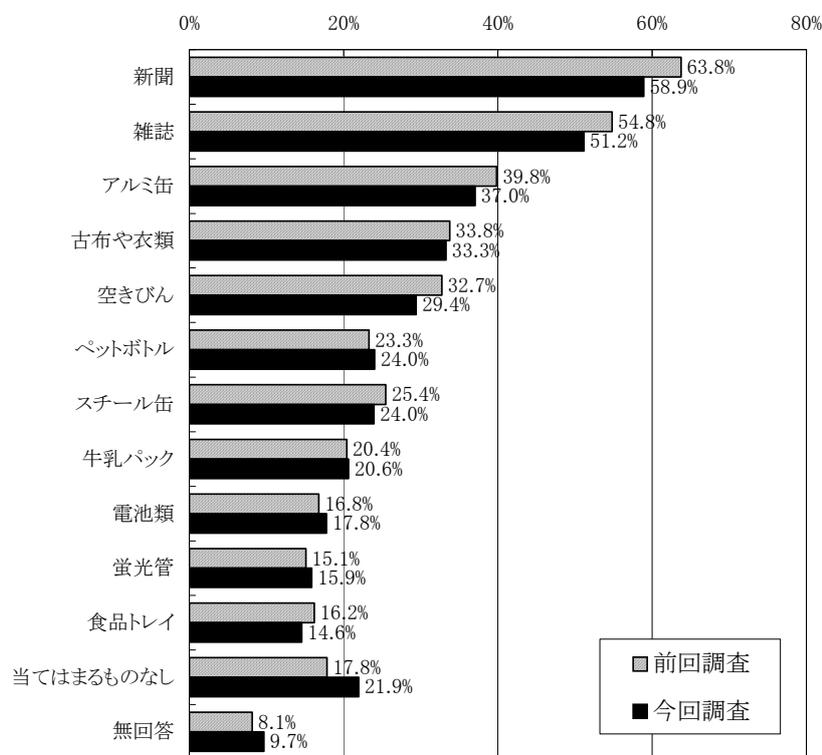
- 資源ごみとして市町の収集に出している品目について、前回調査との比較で見ると、「古布や衣類」が 6.1 ポイント増、「ペットボトル」が 2.1 ポイント増であるのに対して、「食品トレイ」は 4.1 ポイント減、「牛乳パック」は 3.3 ポイント減となっている。

問9 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？  
 (当てはまるものすべてに○) 【回答者数:3,682】



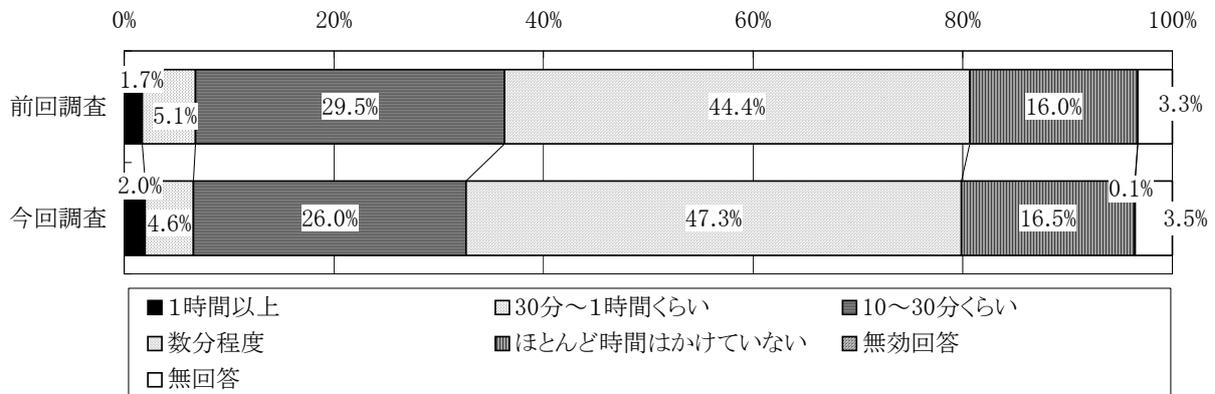
- 店頭回収に出している品目について、前回調査との比較で見ると、「ペットボトル」が 2.6 ポイント増、「アルミ缶」が 2.3 ポイント増であるのに対して、「空きびん」は 2.2 ポイント減、「食品トレイ」は 1.8 ポイント減、「電池類」は 1.7 ポイント減となっている。

問 10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収(集団回収)に出している品目はどれですか？  
 (当てはまるものすべてに○) 【回答者数:3,682】



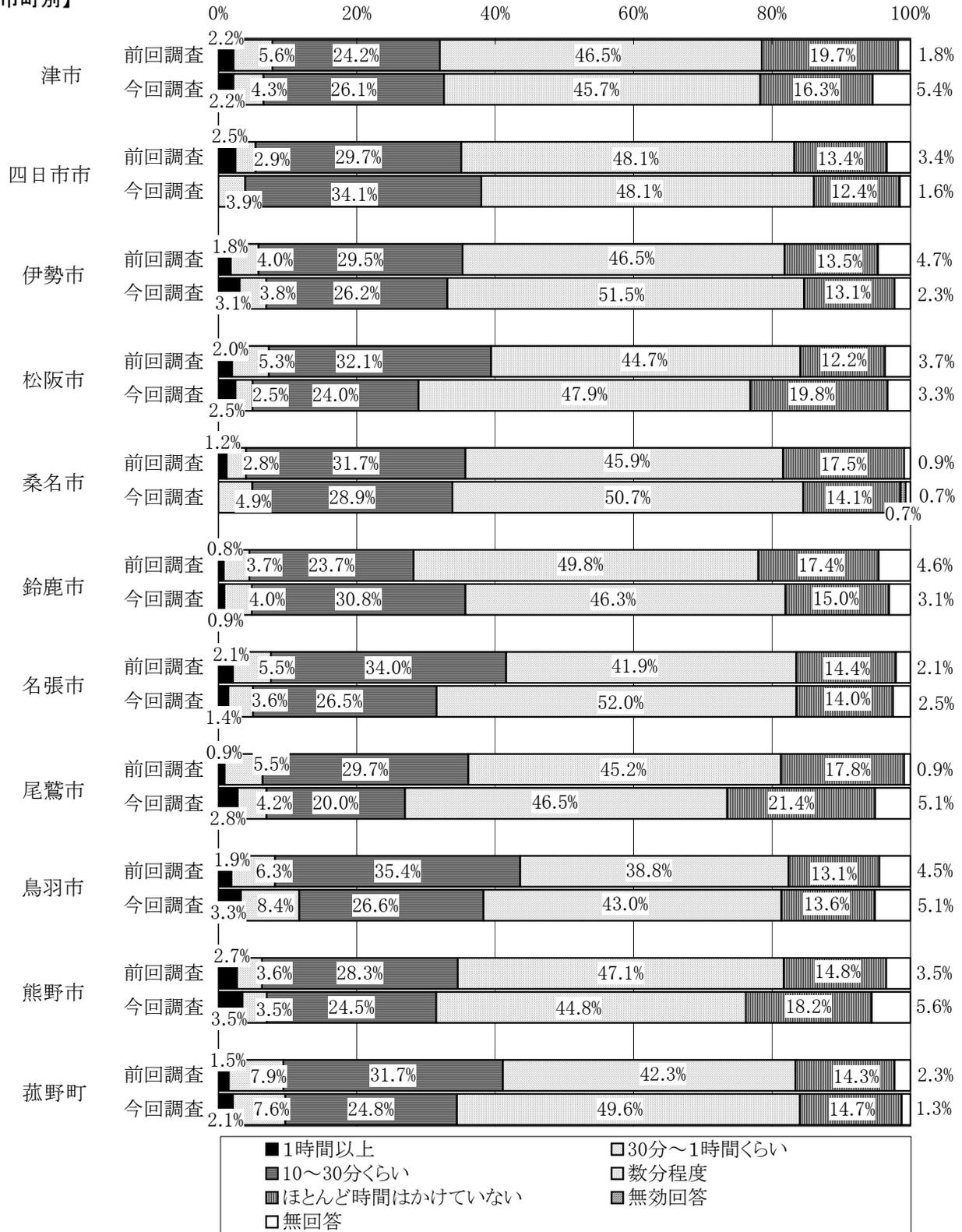
- 地域の廃品回収(集団回収)に出している品目について、前回調査との比較で見ると、全般的に変化がないか、減少傾向にあり、「新聞」が 4.9 ポイント減、「雑誌」が 3.6 ポイント減、「空きびん」が 3.3 ポイント減、「アルミ缶」が 2.8 ポイント減となっている。

問 11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？(○は1つ)  
【回答者数:3,682】



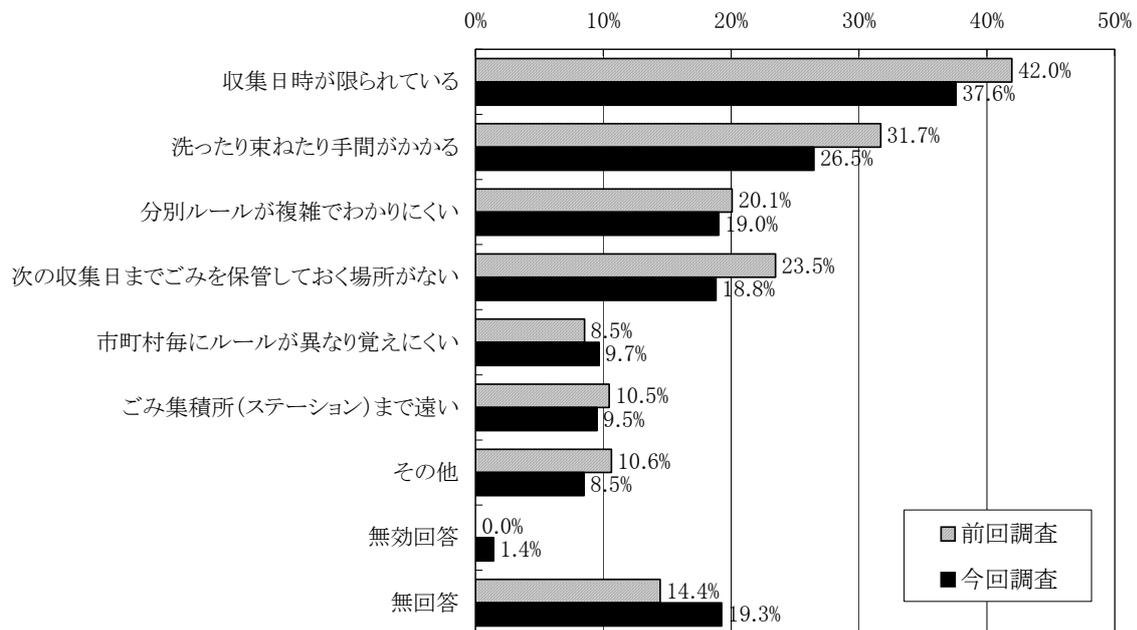
- 家庭内でごみの分別に要している時間について、前回調査との比較で見ると、数分以内でごみの分別を済ませている割合(「数分程度」と「ほとんど時間はかけていない」を合わせた割合)が 60.4%から 63.8%へと 3.4 ポイント増となっているのに対して、分別に10分以上かけている割合(「1時間以上」、「30分~1時間くらい」、「10~30分くらい」を合わせた割合)は 36.3%から 32.6%へと 3.7 ポイントの減少となっている。

【市町別】



・ 市町別に見ると、松阪市や名張市、尾鷲市、鳥羽市、菰野町など多くの市町で、分別に 10 分以上かけている割合（「1時間以上」、「30分～1時間くらい」、「10～30分くらい」を合わせた割合）が減少し、数分以内でゴミの分別を済ませている割合（「数分程度」と「ほとんど時間はかけていない」を合わせた割合）が増加している。

問 14 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？(〇は3つまで)【回答者数:3,682】



- ごみ出しで困ることについて、前回調査との比較で見ると、「洗ったり束ねたり手間がかかる」が5.2ポイント減、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」が4.7ポイント減、「収集日時が限られている」が4.4ポイント減など、ほとんどの項目で減少傾向となっている。

【市町別】

(単位:%)

	津市		四日市市		伊勢市		松阪市		桑名市		鈴鹿市	
	前回調査	今回調査										
収集日時が限られている	27.5	44.6	39.7	31.0	37.8	44.6	42.3	50.4	43.5	40.1	33.6	34.8
洗ったり束ねたり手間がかかる	36.1	28.3	26.8	21.7	37.1	36.9	38.2	32.2	35.8	28.2	28.6	18.1
分別ルールが複雑でわかりにくい	37.5	27.2	29.7	22.5	18.2	22.3	20.3	15.7	14.6	13.4	24.1	15.0
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	20.4	33.7	18.0	17.1	26.9	29.2	25.6	25.6	34.6	19.7	15.4	13.2
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	10.8	7.6	12.6	10.9	5.1	5.4	6.9	10.7	7.3	9.2	11.6	11.9
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	9.3	5.4	13.8	13.2	12.4	16.9	7.3	9.9	13.0	12.0	15.8	12.8
その他	11.9	9.8	7.5	10.1	14.9	4.6	6.5	3.3	7.3	8.5	8.7	14.5
無効回答	-	0.0	-	2.3	-	1.5	-	0.8	-	2.1	-	1.3
無回答	11.5	20.7	14.6	19.4	15.3	14.6	13.4	14.0	8.5	16.2	17.0	18.5
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	名張市		尾鷲市		鳥羽市		熊野市		菟野町		総計	
	前回調査	今回調査										
収集日時が限られている	44.7	34.1	43.4	36.3	47.6	48.6	43.5	43.4	42.6	43.3	20.1	40.3
洗ったり束ねたり手間がかかる	33.7	33.3	22.8	17.2	45.6	37.4	18.4	22.4	46.0	34.9	8.5	28.3
分別ルールが複雑でわかりにくい	19.6	26.2	12.3	10.7	18.9	12.1	21.1	13.3	19.2	15.5	23.5	17.3
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	23.0	22.2	23.7	16.3	28.2	26.6	16.6	21.7	27.5	16.8	42.0	21.0
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	10.3	5.7	6.8	6.5	8.7	3.3	7.2	10.5	6.4	9.2	31.7	8.0
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	10.3	9.0	9.1	6.0	17.5	14.0	8.5	4.2	8.3	9.7	10.5	10.3
その他	12.7	8.2	12.3	9.3	9.2	7.5	15.2	10.5	15.8	8.0	10.6	8.8
無効回答	-	1.8	-	1.4	-	1.4	-	0.0	-	1.7	-	1.4
無回答	11.0	17.6	18.3	28.8	9.2	15.0	14.8	18.2	12.1	16.0	14.4	18.2
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・市町別に見ると、「収集日時が限られている」は津市で17.1ポイント増、松阪市で8.1ポイント増、伊勢市で6.8ポイント増となっているのに対して、名張市では10.6ポイント減、四日市市では8.7ポイント減、尾鷲市では7.1ポイント減となっている。
- ・「洗ったり束ねたり手間がかかる」は、菟野町で11.1ポイント減、鈴鹿市で10.5ポイント減、鳥羽市で8.2ポイント減、津市で7.8ポイント減、桑名市で7.6ポイント減など、ほとんどの市町で減少傾向にある。
- ・「分別ルールが複雑でわかりにくい」は、名張市で6.6ポイント増、伊勢市で4.1ポイント増となっているほかは、すべて減少となっている。
- ・「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」は、津市で13.3ポイント増、熊野市で5.1ポイント増となっているのに対して、桑名市では14.9ポイント減、菟野町では10.7ポイント減、尾鷲市では7.4ポイント減となっている。
- ・「ごみ集積所(ステーション)まで遠い」や「市町村毎にルールが異なり覚えにくい」については、前回調査と比べて大きな増減は見られない。

【年齢別】

(単位:%)

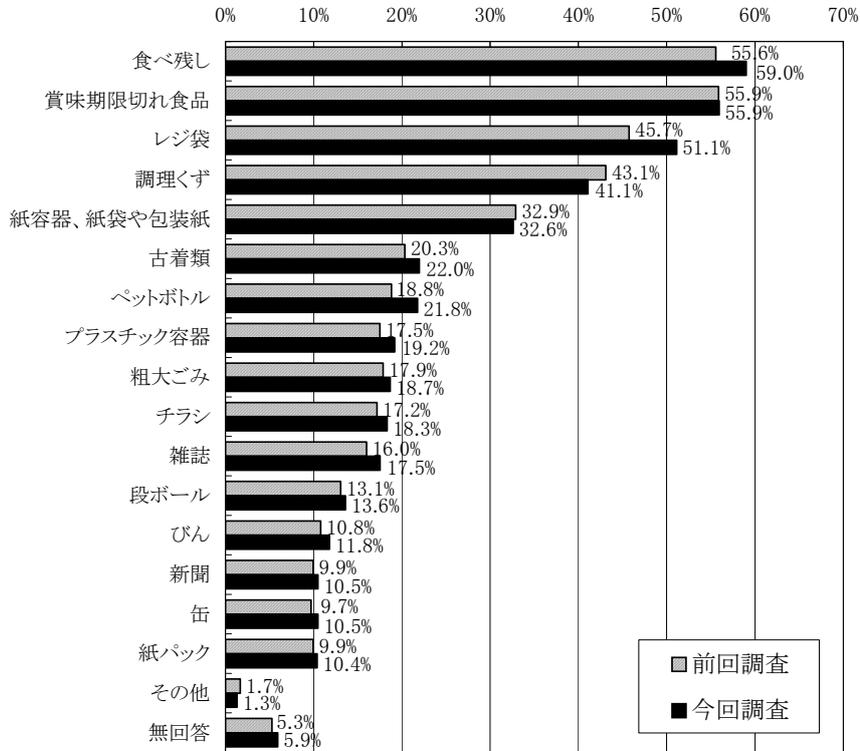
	20代以下		30代		40代		50代		60代	
	前回調査	今回調査								
収集日時が限られている	33.3	32.6	39.9	36.7	42.1	43.0	45.9	35.3	42.1	37.0
洗ったり束ねたり手間がかかる	25.3	25.8	31.4	28.8	38.1	28.3	35.4	28.9	30.0	26.5
分別ルールが複雑でわかりにくい	21.2	27.0	20.9	26.0	19.0	17.7	20.0	19.1	21.5	16.3
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	40.4	28.3	37.5	30.7	33.3	26.2	24.4	18.5	15.6	12.1
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	17.2	12.9	11.6	15.7	8.8	9.8	8.6	8.3	8.2	6.7
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	14.1	9.4	10.9	12.7	11.8	8.4	10.0	9.1	8.8	9.3
その他	12.1	4.7	10.5	5.6	8.3	8.0	9.2	7.8	13.4	11.1
無効回答	—	3.0	—	2.1	—	2.8	—	1.2	—	0.5
無回答	9.1	14.6	9.5	13.1	10.3	14.5	12.1	20.2	15.4	21.4
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	70代以上		無効回答		無回答		総計	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
収集日時が限られている	42.2	39.3	—	100.0	29.1	34.9	20.1	37.6
洗ったり束ねたり手間がかかる	25.2	20.9	—	0.0	25.5	22.9	8.5	26.5
分別ルールが複雑でわかりにくい	18.2	15.6	—	100.0	20.4	18.3	23.5	19.0
次の収集日までごみを保管しておく場所がない	12.4	9.8	—	0.0	20.9	14.7	42.0	18.8
市町村毎にルールが異なり覚えにくい	5.7	8.2	—	0.0	6.6	18.3	10.5	9.7
ごみ集積所(ステーション)まで遠い	12.4	9.6	—	100.0	7.7	5.5	31.7	9.5
その他	11.6	9.4	—	0.0	9.2	11.9	10.6	8.5
無効回答	—	0.8	—	0.0	—	0.0	0.0	1.4
無回答	21.2	25.7	—	0.0	27.0	19.3	14.4	19.3
回答者数	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、「収集日時が限られている」は50代と60代で、「洗ったり束ねたり手間がかかる」は40代と50代で減少がやや大きい。
- ・ 「分別ルールが複雑でわかりにくい」は、30代以下の若い世代でやや増加している。
- ・ 「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」は、すべての年齢層で減少傾向が見られるが、特に20代以下の減少が大きい。
- ・ 「ごみ集積所(ステーション)まで遠い」や「市町村毎にルールが異なり覚えにくい」については、前回調査と比べて大きな増減は見られない。

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問 15 今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？  
 (〇は当てはまるものすべて)【回答者数:3,682】



- 暮らしの工夫で減らせるごみについて、前回調査との比較で見ると、「レジ袋」が5.4ポイント増、「食べ残し」が3.4ポイント増、「ペットボトル」が3.0ポイント増となっているのをはじめ、ほとんどの項目で変化なし、又は微増となっている。

【年齢別】

(単位:%)

	20代以下		30代		40代		50代		60代	
	前回調査	今回調査								
食べ残し	61.6	67.4	61.5	66.5	60.1	60.7	60.0	58.7	54.1	60.1
賞味期限切れ食品	68.7	70.4	68.9	63.1	63.1	60.5	60.3	58.9	49.6	52.2
レジ袋	57.6	58.8	52.5	57.5	50.8	54.2	47.2	49.8	44.8	52.0
調理くず	42.4	39.1	42.5	40.6	42.1	38.6	43.1	39.6	45.6	45.5
紙容器、紙袋や包装紙	33.3	30.0	28.7	31.5	31.1	29.9	31.7	35.5	36.6	34.4
古着類	33.3	23.6	16.2	20.0	19.5	17.7	19.0	22.9	22.0	24.4
ペットボトル	27.3	24.9	19.7	20.0	18.5	21.0	18.2	21.8	18.4	23.9
プラスチック容器	12.1	21.0	16.9	17.2	17.7	15.6	15.5	17.8	19.6	23.0
粗大ゴミ	13.1	14.6	12.8	13.5	17.7	13.5	16.2	18.4	22.6	25.0
チラシ	15.2	12.9	9.5	13.1	10.6	13.1	17.0	16.3	20.3	23.0
雑誌	19.2	16.3	16.6	13.7	14.2	15.6	14.5	17.4	16.3	19.6
段ボール	10.1	9.0	9.7	9.4	8.6	10.5	12.6	12.8	15.3	16.5
びん	12.1	12.0	7.8	8.6	9.6	8.9	9.6	11.6	11.5	14.4
新聞	11.1	7.7	6.4	8.6	6.1	7.5	7.3	8.7	12.4	13.2
缶	11.1	10.3	8.6	8.4	7.5	8.4	8.6	10.3	10.7	11.9
紙パック	10.1	10.7	7.8	9.2	7.5	7.7	7.9	8.5	11.5	12.4
その他	2.0	0.9	0.7	1.5	1.2	1.0	0.7	0.9	2.6	1.7
無回答	3.0	3.0	1.9	2.8	2.2	4.0	3.5	5.4	6.2	5.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	70代以上		無効回答		無回答		総計	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
食べ残し	44.8	49.1	—	100.0	43.9	53.2	55.6	59.0
賞味期限切れ食品	43.6	42.1	—	100.0	44.4	56.9	55.9	55.9
レジ袋	35.2	41.8	—	100.0	39.3	50.5	45.7	51.1
調理くず	40.7	40.6	—	100.0	43.9	41.3	43.1	41.1
紙容器、紙袋や包装紙	36.5	29.9	—	100.0	25.0	36.7	32.9	32.6
古着類	22.0	22.4	—	100.0	19.4	21.1	20.3	22.0
ペットボトル	19.1	20.0	—	100.0	18.4	21.1	18.8	21.8
プラスチック容器	20.8	20.4	—	100.0	10.7	16.5	17.5	19.2
粗大ゴミ	19.4	20.7	—	100.0	13.3	19.3	17.9	18.7
チラシ	25.1	25.4	—	100.0	16.3	18.3	17.2	18.3
雑誌	18.9	19.5	—	100.0	15.3	20.2	16.0	17.5
段ボール	17.6	17.8	—	100.0	13.3	17.4	13.1	13.6
びん	14.7	13.5	—	100.0	10.7	12.8	10.8	11.8
新聞	15.6	13.3	—	100.0	12.8	15.6	9.9	10.5
缶	12.9	12.2	—	100.0	9.7	11.0	9.7	10.5
紙パック	14.5	12.8	—	100.0	10.7	13.8	9.9	10.4
その他	2.8	1.9	—	0.0	2.0	0.0	1.7	1.3
無回答	8.8	10.5	—	0.0	16.8	11.9	5.3	5.9
回答者数	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ・ 年齢別に見ると、20代以下で増加が比較的大きいのは「食べ残し」と「プラスチック容器」、逆に減少が大きいのは「古着類」である。
- ・ 30代で増加が大きいのは「食べ残し」と「レジ袋」、減少が大きいのは「賞味期限切れ食品」である。
- ・ 40代、50代では、どの項目も大きな増減は見られない。
- ・ 60代では、「食べ残し」と「レジ袋」に加え、「ペットボトル」の増加がやや大きい。
- ・ 70代以上では、「食べ残し」と「レジ袋」の増加が大きく、「紙容器、紙袋や包装紙」の減少がやや大きい。

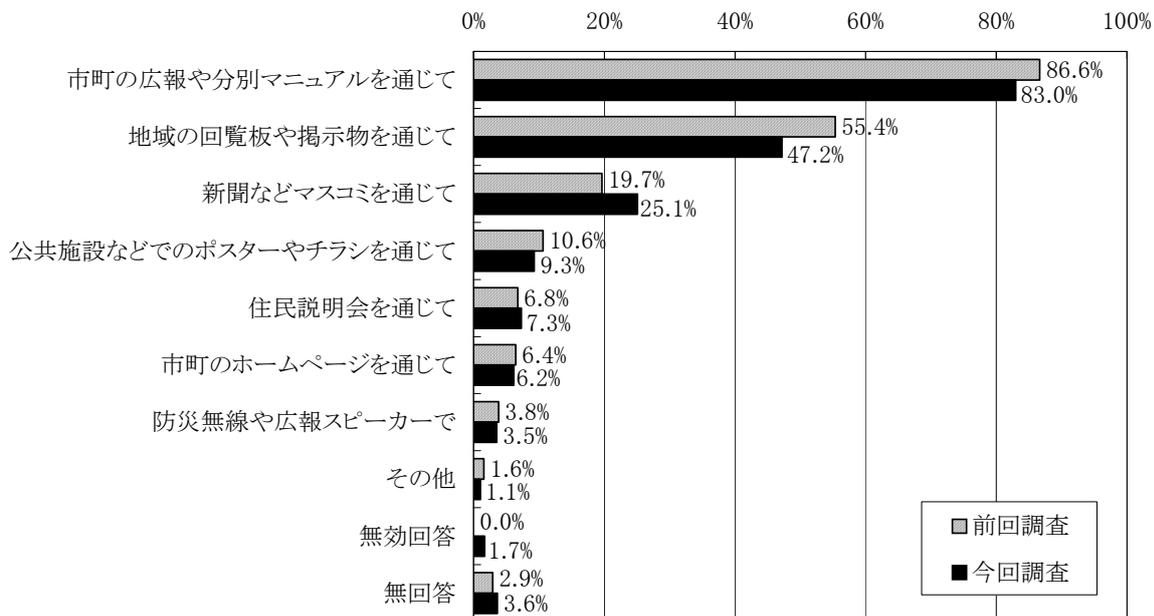
【世帯人数別】

(単位:%)

	1人		2人		3人		4人		5人以上		無効回答		無回答		総計	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査								
食べ残し	53.1	54.9	55.1	58.0	53.9	59.1	59.9	65.3	57.5	59.7	—	0.0	46.9	51.6	55.6	59.0
賞味期限切れ食品	52.8	52.0	54.2	54.5	56.8	56.6	57.8	62.2	59.2	55.7	—	0.0	45.9	51.6	55.9	55.9
レジ袋	44.0	44.5	45.8	50.8	46.0	52.7	45.2	54.6	48.2	52.3	—	100.0	39.2	48.4	45.7	51.1
調理くず	40.8	41.2	43.8	39.7	42.3	44.2	42.8	41.3	44.1	38.8	—	0.0	43.8	40.5	43.1	41.1
紙容器、紙袋や包装紙	32.4	31.1	34.0	32.2	33.9	35.0	31.4	31.5	34.0	32.0	—	100.0	25.3	33.3	32.9	32.6
古着類	23.9	23.0	20.6	22.6	20.7	21.6	17.3	20.4	20.7	22.3	—	0.0	20.1	21.4	20.3	22.0
ペットボトル	23.0	20.9	19.1	22.5	16.9	24.0	19.9	19.2	18.0	21.0	—	100.0	18.0	19.8	18.8	21.8
プラスチック容器	21.3	17.8	19.0	21.4	15.2	21.0	17.5	17.7	17.9	15.1	—	0.0	11.9	19.8	17.5	19.2
粗大ごみ	21.0	23.8	18.5	20.7	17.3	18.0	19.0	15.0	16.6	14.8	—	100.0	13.4	19.8	17.9	18.7
チラシ	23.6	20.7	19.5	21.0	16.1	19.0	14.5	12.8	15.1	15.8	—	0.0	16.0	19.8	17.2	18.3
雑誌	21.6	18.6	17.3	18.2	14.5	19.2	17.3	14.0	12.7	15.8	—	0.0	14.9	20.6	16.0	17.5
段ボール	19.5	14.1	14.3	14.9	12.4	14.8	11.0	10.6	11.2	11.0	—	100.0	13.4	18.3	13.1	13.6
びん	14.6	13.2	11.3	13.1	9.0	12.2	11.8	9.8	9.6	9.4	—	100.0	10.8	13.5	10.8	11.8
新聞	12.8	10.8	11.4	12.5	9.8	10.5	7.2	8.4	8.4	7.7	—	0.0	13.4	15.1	9.9	10.5
缶	11.7	10.4	11.0	11.2	8.9	11.8	9.0	9.1	8.4	8.7	—	100.0	10.8	9.5	9.7	10.5
紙パック	15.2	10.1	11.1	11.3	8.5	11.8	8.0	8.4	9.1	8.3	—	0.0	11.3	13.5	9.9	10.4
その他	2.3	2.7	1.7	1.5	1.4	1.1	1.4	0.8	1.8	1.0	—	0.0	2.1	0.0	1.7	1.3
無回答	5.5	7.9	6.3	6.2	3.9	5.0	3.8	4.0	3.8	6.1	—	0.0	17.0	9.5	5.3	5.9
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

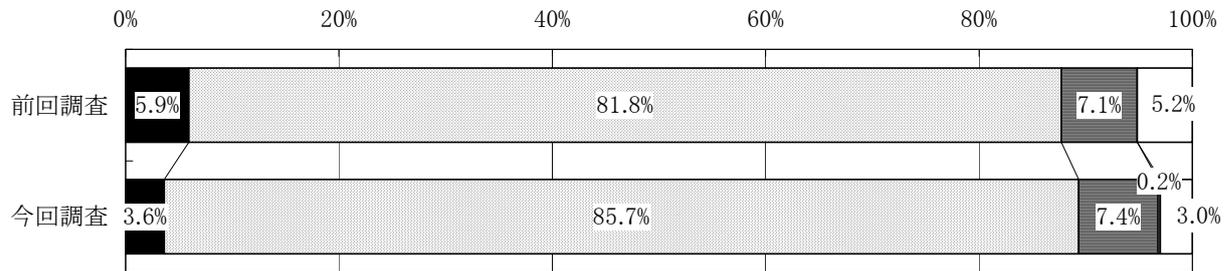
- ・ 世帯人数別に見ると、1人世帯ではほとんどの項目が減少傾向にあり、特に「段ボール」と「紙パック」の減少がやや大きい。
- ・ 2人以上の世帯では、いずれも「レジ袋」が大きく増加している。3人世帯では、「レジ袋」のほかに「食べ残し」、「ペットボトル」、「プラスチック容器」、「雑誌」などの増加が大きい。また、4人世帯では、「食べ残し」や「賞味期限切れ食品」の増加がやや大きい。

問 16 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？(〇は3つまで)【回答者数:3,682】



- ごみ関連情報の入手方法について、前回調査との比較で見ると、「新聞などマスコミを通じて」が 5.4 ポイント増となっているのに対して、「地域の回覧板や掲示物を通じて」は 8.2 ポイント減、「市町の広報や分別マニュアルを通じて」は 3.6 ポイント減となっている。そのほかの項目は、ほとんど変化が見られない。

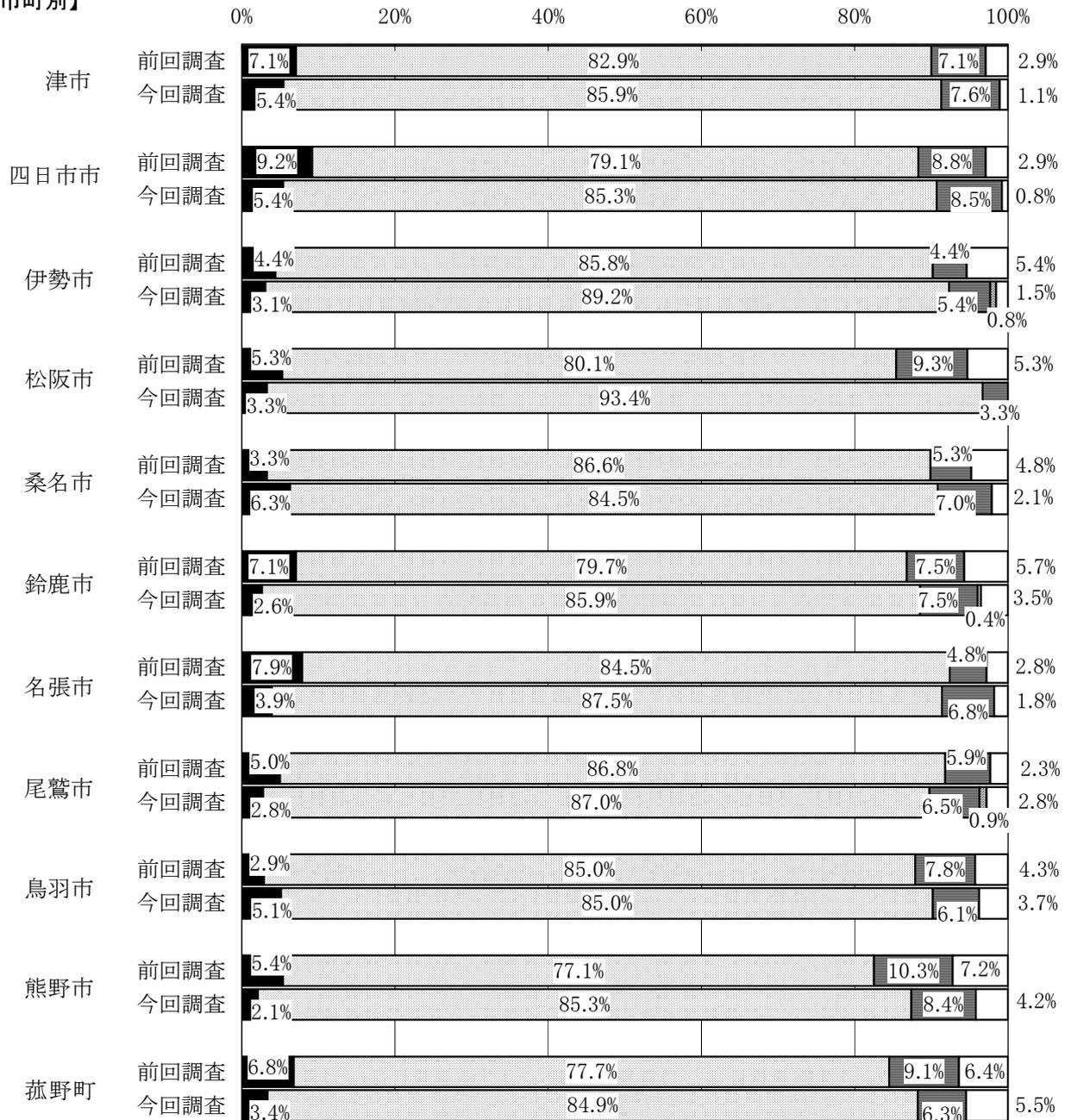
問 18 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚 10 円です」といわれたとします。  
 次回の買い物から、あなたの行動はどう変わるとおもいますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



- 少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う
- 少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う
- 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする
- 無効回答
- 無回答

- ・ レジ袋有料化による行動変化を前回調査との比較で見ると、「少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」が 3.9 ポイント増となっているのに対して、「少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う」は 2.3 ポイントの減少となっている。

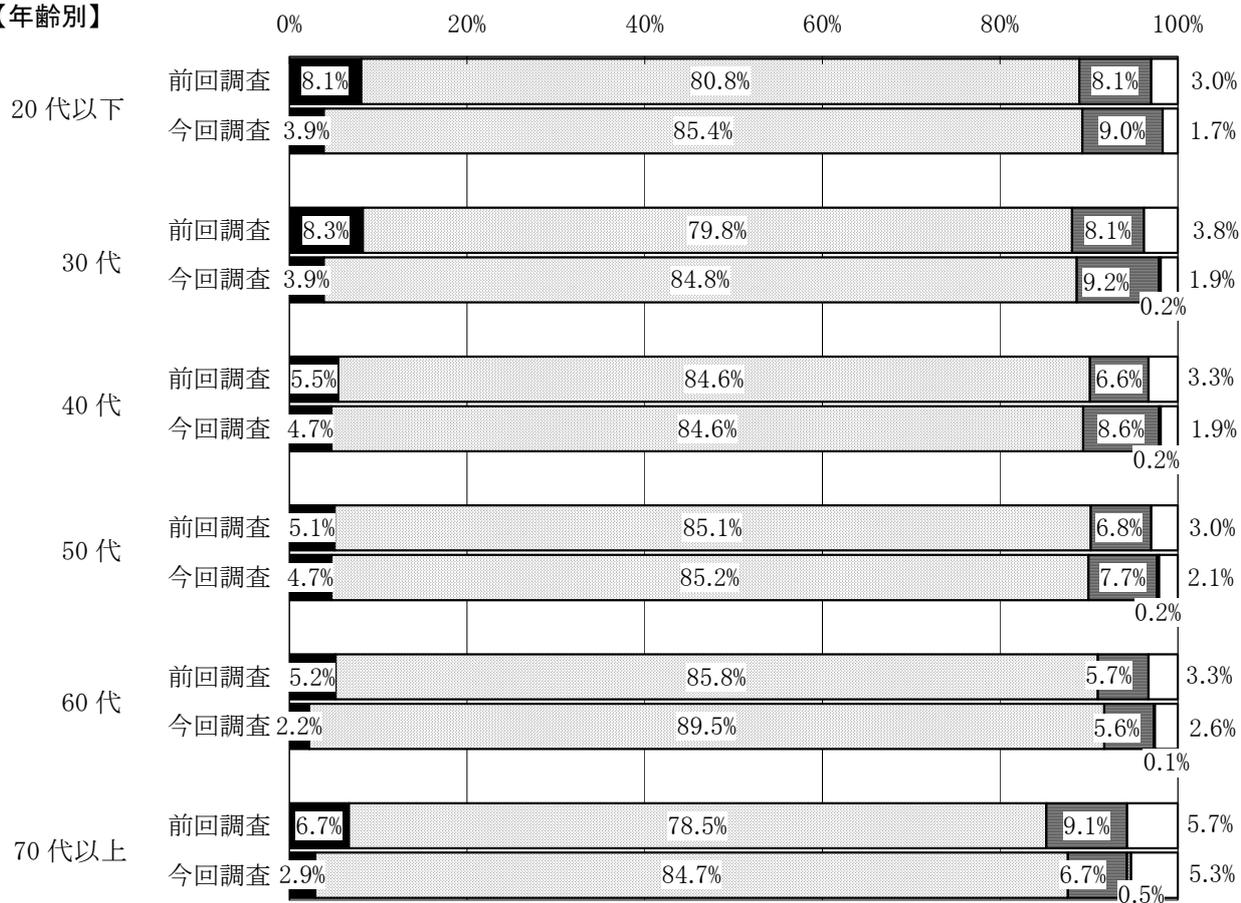
【市町別】



少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う  
 少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う  
 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする  
 無効回答  
 無回答

- 市町別に見ると、「少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う」は、桑名市と鳥羽市でやや増加となっているほかはすべて減少している。
- 逆に、「少しくらいめんどうでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」は、前回調査と比べ増加傾向にある市町が多く、特に松阪市では13.3ポイント増、熊野市では8.2ポイント増、菰野町では7.2ポイント増となっている。
- 「1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする」は、松阪市で6.0ポイント減少しているほかはほとんど変化がない。

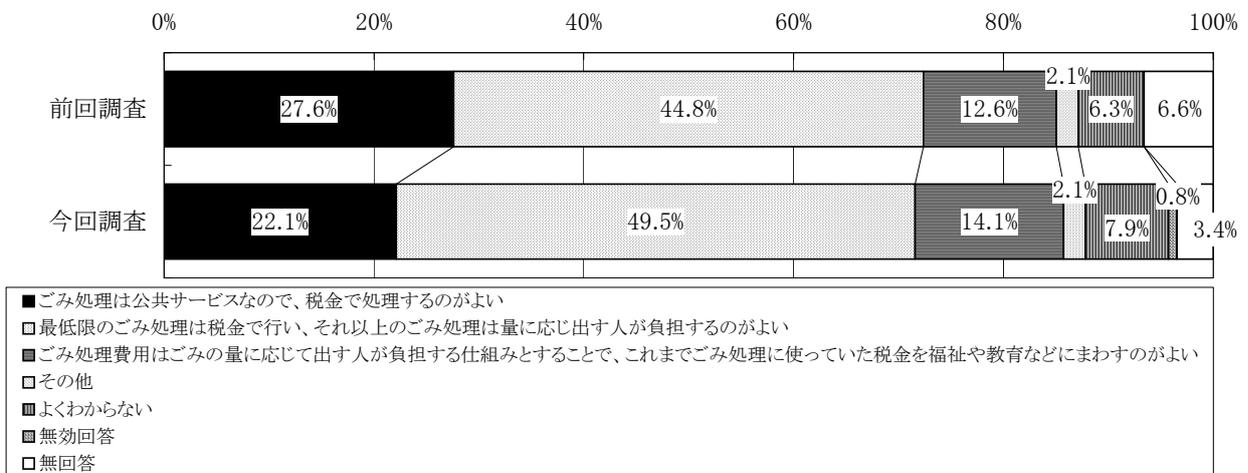
【年齢別】



- 少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う
- 少しくらいめんどくでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う
- 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする
- 無効回答
- 無回答

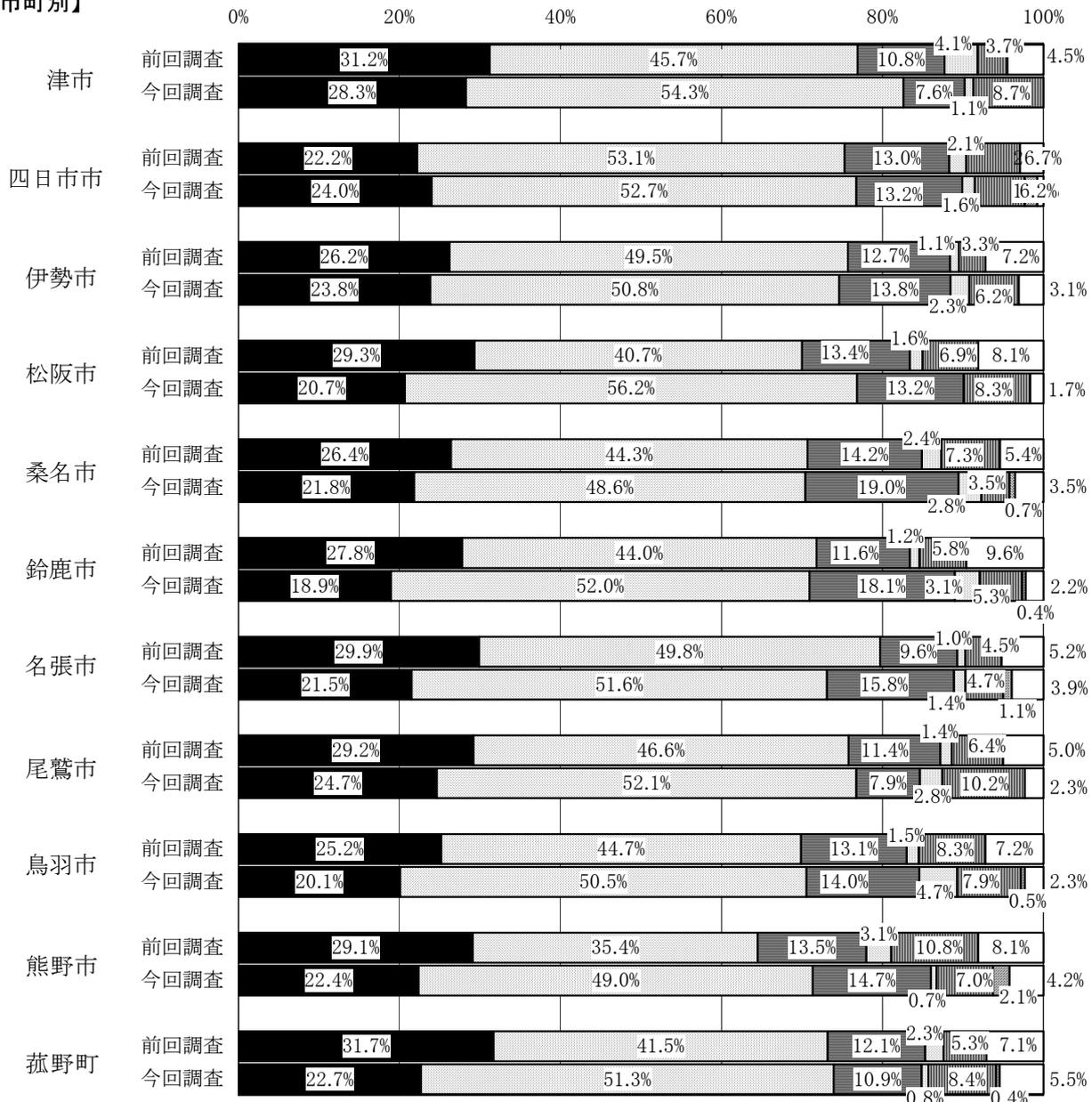
- 年齢別に見ると、「少しくらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う」は、すべての年齢層で減少しており、特に30代以下の若い世代と70代以上の減少がやや大きい。
- 逆に、「少しくらいめんどくでも、買い物袋(マイバッグ)を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う」は、30代以下の若い世代と70代以上で増加傾向が見られる。
- 「1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする」については、大きな増減は見られない。

問 19 増え続けるごみを減らすため、ごみ(可燃ごみ)の排出に料金を課す市町が増えていきます。税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



- 税金によるごみ処理について、前回調査との比較で見ると、「ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい」は 5.5 ポイントの減少となっている。これに対して、「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」が 4.7 ポイント増となっている。

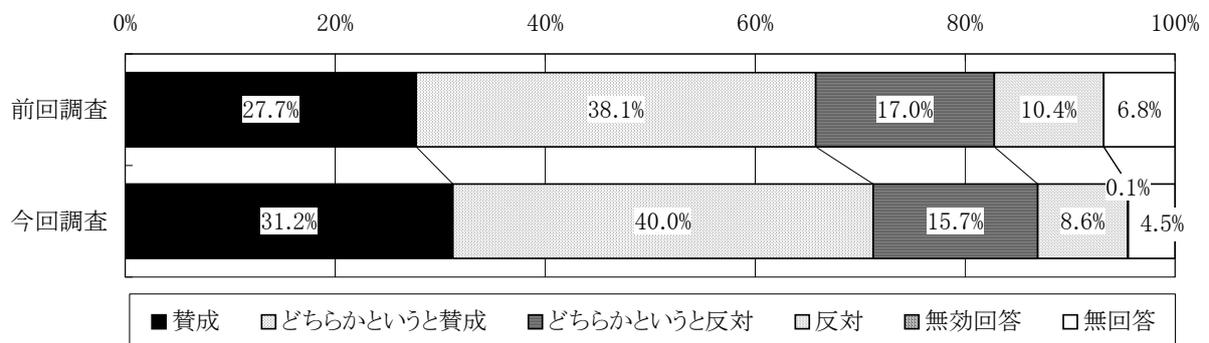
【市町別】



ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい  
 最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい  
 ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい  
 その他  
 よくわからない  
 無効回答  
 無回答

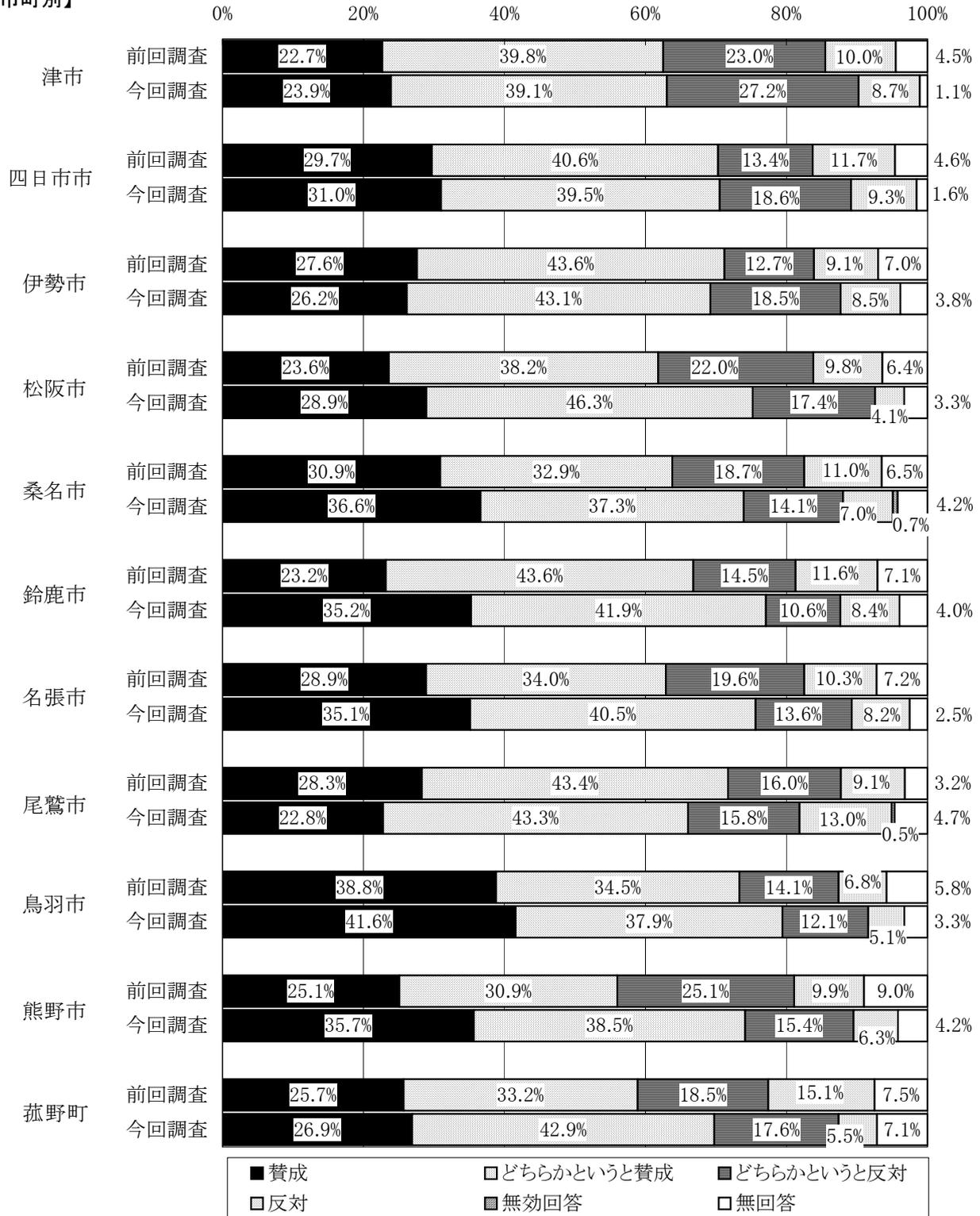
- 市町別に見ると、「ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい」は、四日市市で微増となっているほかは、菰野町で9.0ポイント減、鈴鹿市で8.9ポイント減、松阪市で8.6ポイント減、名張市で8.4ポイント減など、すべての市町で減少している。
- 逆に、「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」は、松阪市で15.5ポイント増、熊野市で13.6ポイント増、菰野町で9.8ポイント増、津市で8.6ポイント増、鈴鹿市で8.0ポイント増など、ほとんどの市町で増加傾向が見られる。
- 「ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい」は、桑名市、鈴鹿市、名張市でやや増加している。

問 20 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？(○は1つ)  
【回答者数:3,682】



- ・「ごみの量に応じて負担するごみ有料化についてどう思うか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「賛成」は27.7%から31.2%へと3.5ポイントの増加となっており、「どちらかという賛成」を合わせると、65.8%から71.2%と5.4ポイントの増加となっている。
- ・「どちらかという反対」と「反対」を合わせた割合は、3.1ポイント減少している。

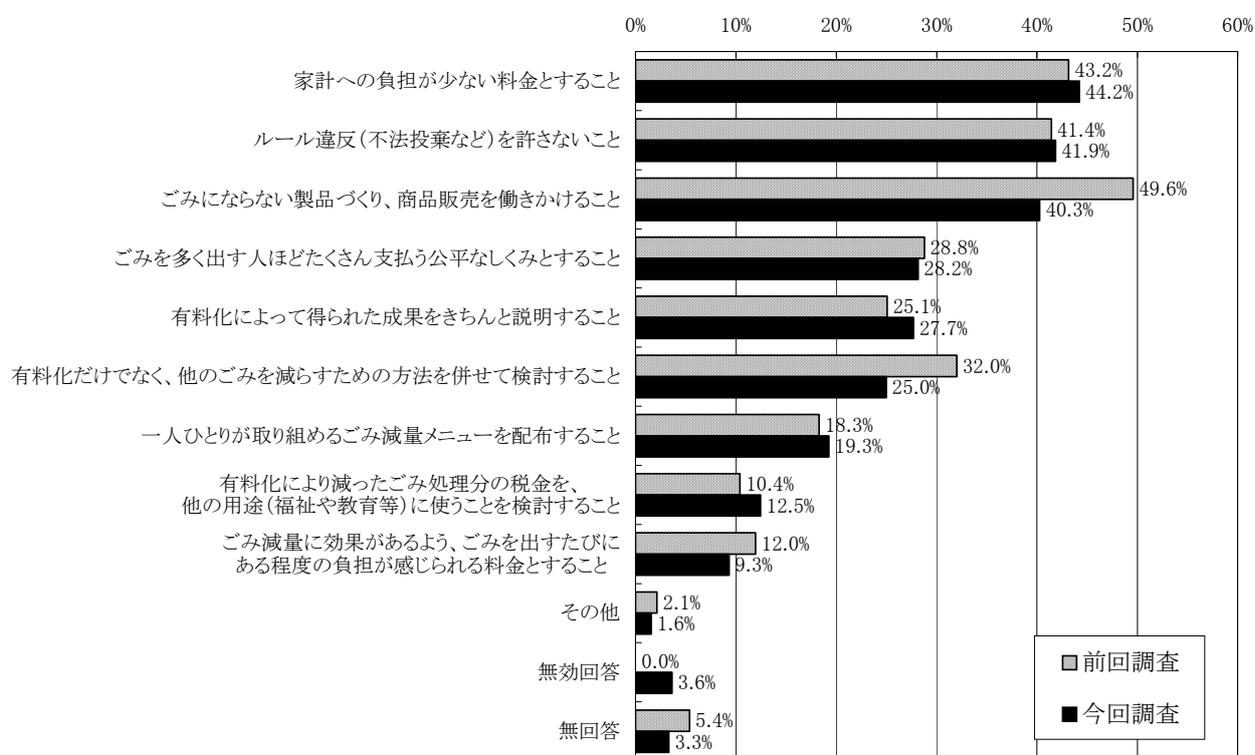
【市町別】



- 市町別に見ると、「賛成」は鈴鹿市で12.0ポイント増、熊野市で10.6ポイント増、名張市で6.2ポイント増、桑名市で5.7ポイント増、松阪市で5.3ポイント増など、ほとんどの市町で増加傾向が見られる中、尾鷲市では5.5ポイントの減少となっている。
- 「賛成」と「どちらかという賛成」を合わせると、尾鷲市、伊勢市ではやや減少となっているものの、熊野市や松阪市、名張市、菰野町、鈴鹿市、桑名市では大幅に増加している。
- 「反対」は、菰野町の9.6ポイント減をはじめ、ほとんどの市町で減少となっているが、尾鷲市のみ3.9ポイントの増加となっている。

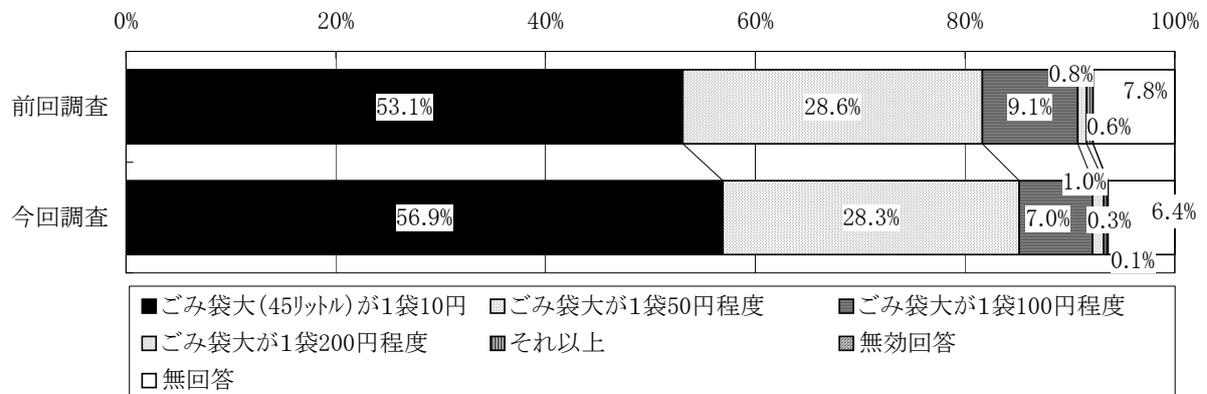
問 21 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？

(○は特に重要と思うこと3つまで)【回答者数:3,682】



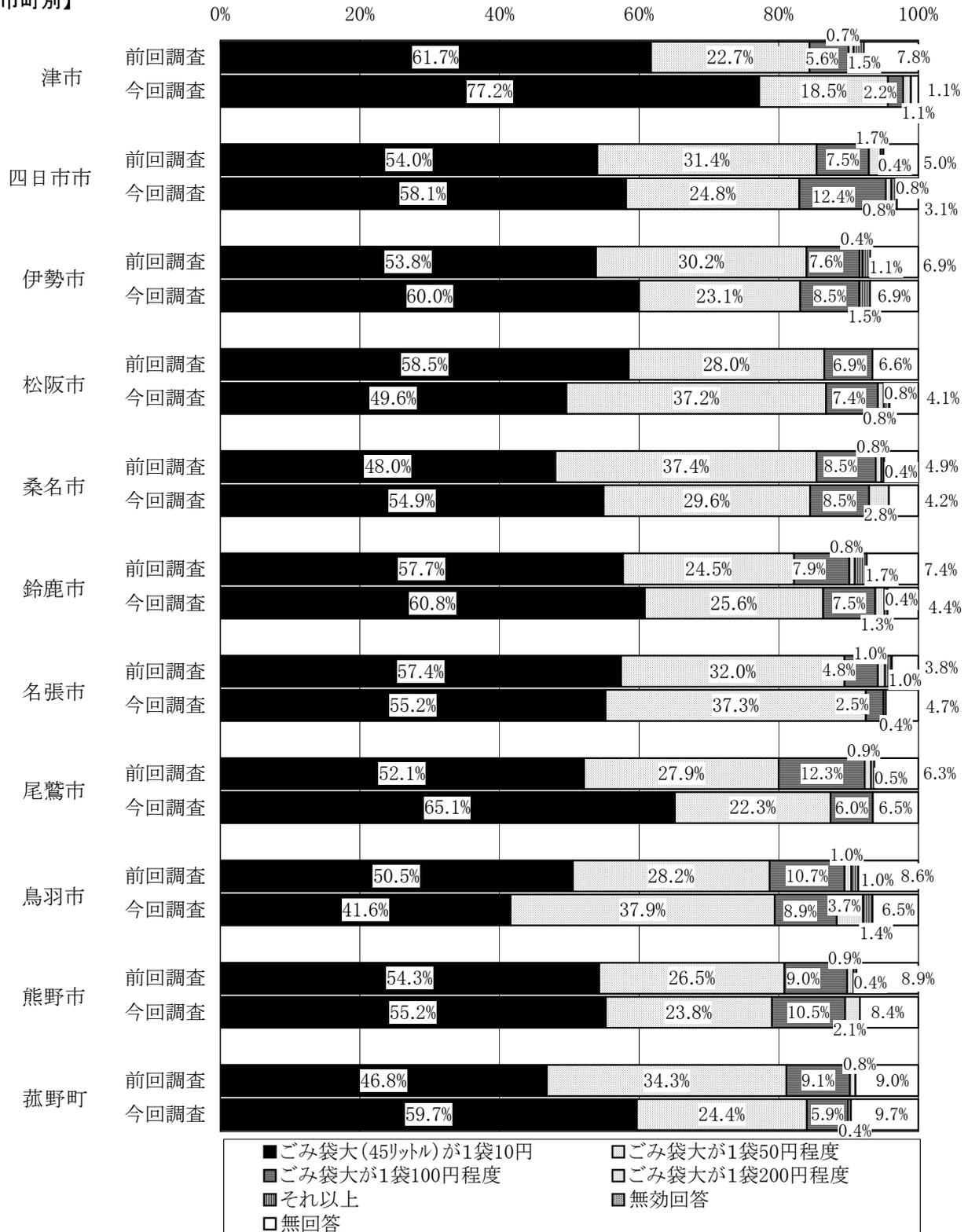
- ごみ有料化を検討するうえでの重視事項について、前回調査との比較で見ると、「有料化によって得られた成果をきちんと説明すること」が 2.6 ポイント増、「有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること」が 2.1 ポイント増となっているのに対し、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」は 9.3 ポイント減、「有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること」は 7.0 ポイント減となっている。
- 前回 43.2% で第 2 位だった「家計への負担が少ない料金とすること」は、今回 44.2% と第 1 位になっている。

問 22 ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？(○は1つ)【回答者数:3,682】



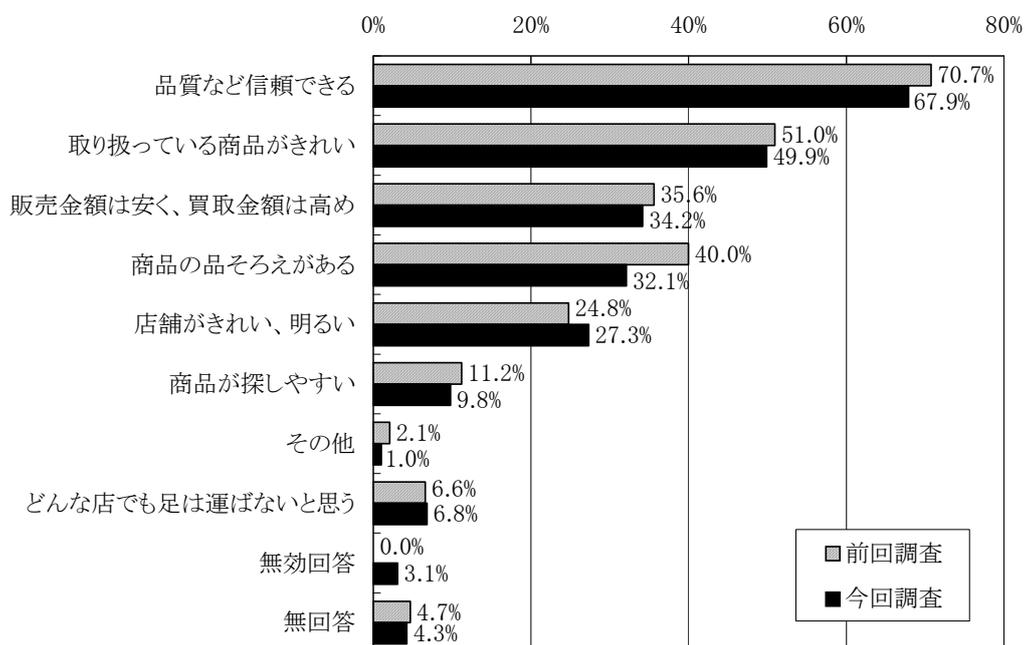
- ごみ有料化での受け入れ可能金額について、前回調査との比較で見ると、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円」が3.8ポイントの増加となっている。

【市町別】



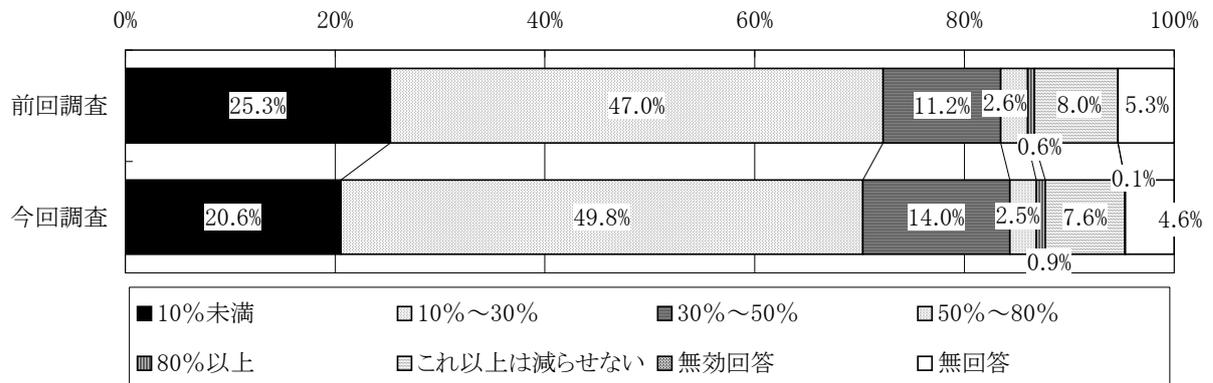
- ・ 市町別に見ると、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円」は津市で15.5ポイント増、尾鷲市で13.0ポイント増、菰野町で12.9ポイント増、桑名市で6.9ポイント増、伊勢市で6.2ポイント増など、ほとんどの市町で増加しているが、松阪市と鳥羽市ではともに8.9ポイントの減少となっている。
- ・ 「ごみ袋大が1袋50円程度」はほとんどの市町で減少しているが、松阪市と鳥羽市では10ポイント弱の増加となっている。

問 24 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店(リサイクルショップ)ができたとします。この店がどんな店であったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？(○は3つまで)【回答者数:3,682】



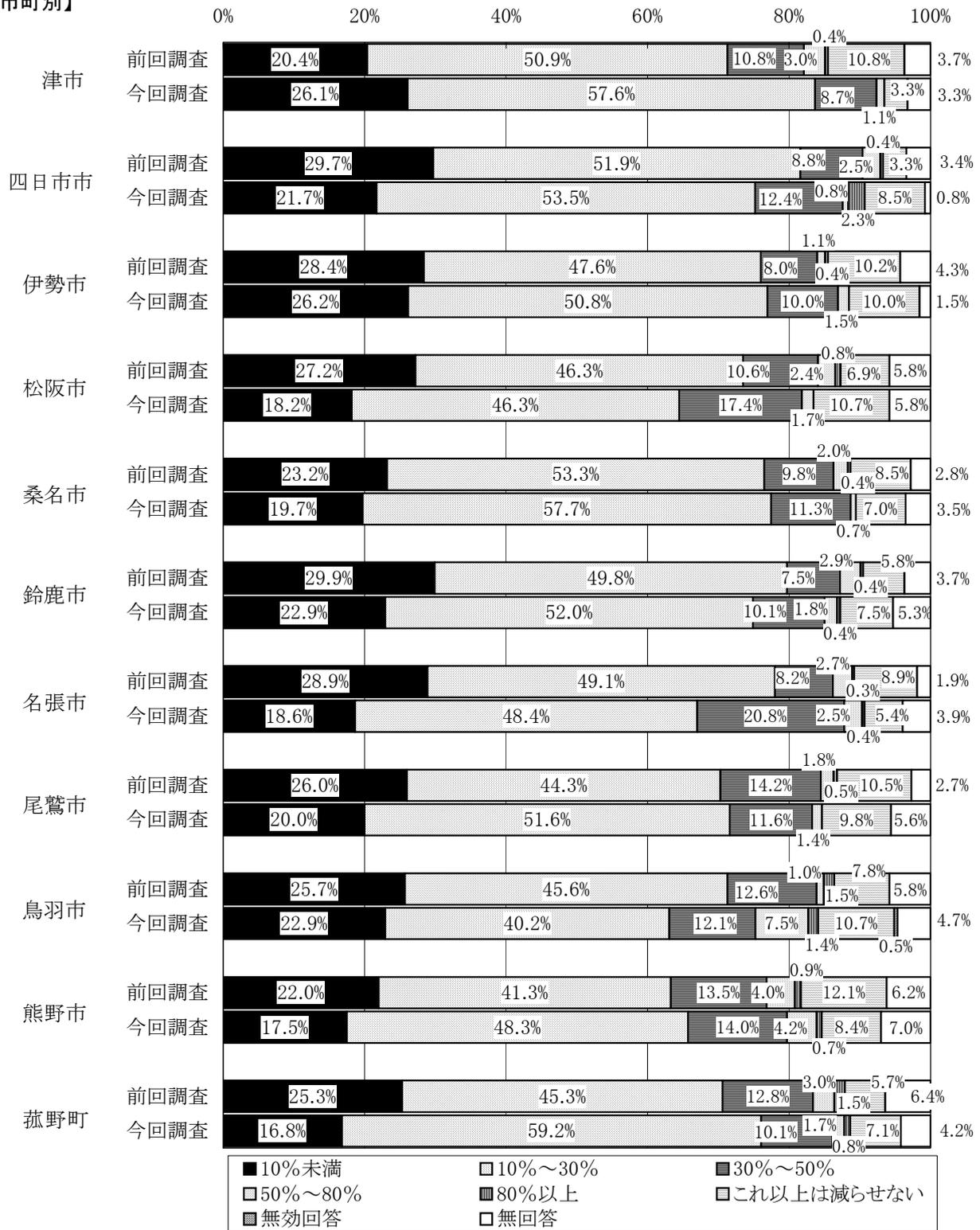
- ・ 利用したいリサイクルショップの条件について、前回調査との比較で見ると、「店舗がきれい、明るい」が 2.5 ポイントとやや増加しているほかは、全般的に減少傾向にあり、特に「商品の品そろえがある」は 7.9 ポイントの減少となっている。
- ・ 前回調査で 70.7%と第1位だった「品質など信頼できる」は、今回調査でも 67.9%と、第2位の「取り扱っている商品がきれい」に 18 ポイント差をつけ、第1位を占めている。

問 25 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限って言えば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？(○は1つ)  
【回答者数:3,682】



- ・「可燃ごみはどれだけ減らせるか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「10%~30%」と「30%~50%」でそれぞれ2.8ポイントずつ増加しているのに対して、「10%未満」は4.7ポイントの減少となっている。
- ・前回調査で47.0%と第1位だった「10%~30%」は、今回調査でも49.8%と、第2位の「10%未満」に約30ポイントの差をつけ第1位を占めている。

【市町別】

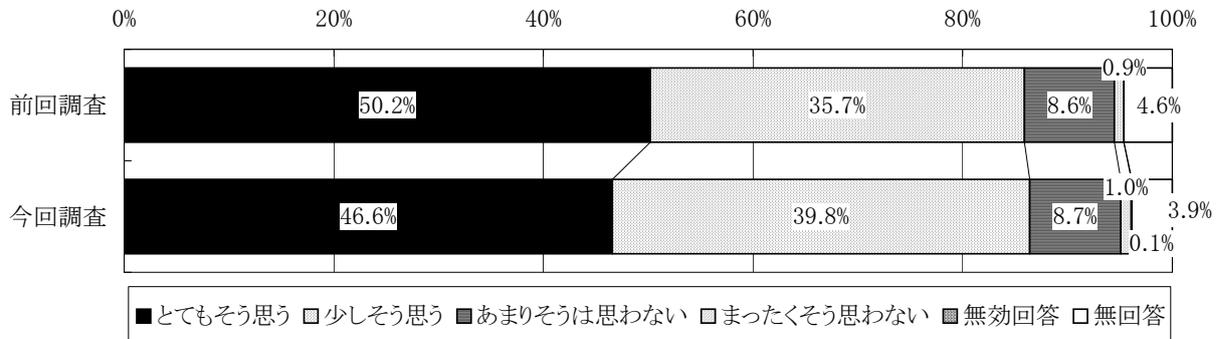


- 市町別に見ると、「10%未満」は津市で 5.7 ポイント増となっているほかは、すべて減少している。一方、「10%~30%」はほとんどの市町で増加傾向にある。
- 「10%未満」、「10%~30%」、「これ以上は減らせない」を合わせると、菰野町で6.8ポイント増、津市で4.9ポイント増となっているのに対して、名張市では14.5ポイント減、鳥羽市では5.3ポイント減、松阪市では5.2ポイント減となっている。
- 松阪市と名張市では、「30%~50%」の増加がやや大きい。

◎ 「ごみ処理基本計画」作りへの住民参画についてお聞きします。

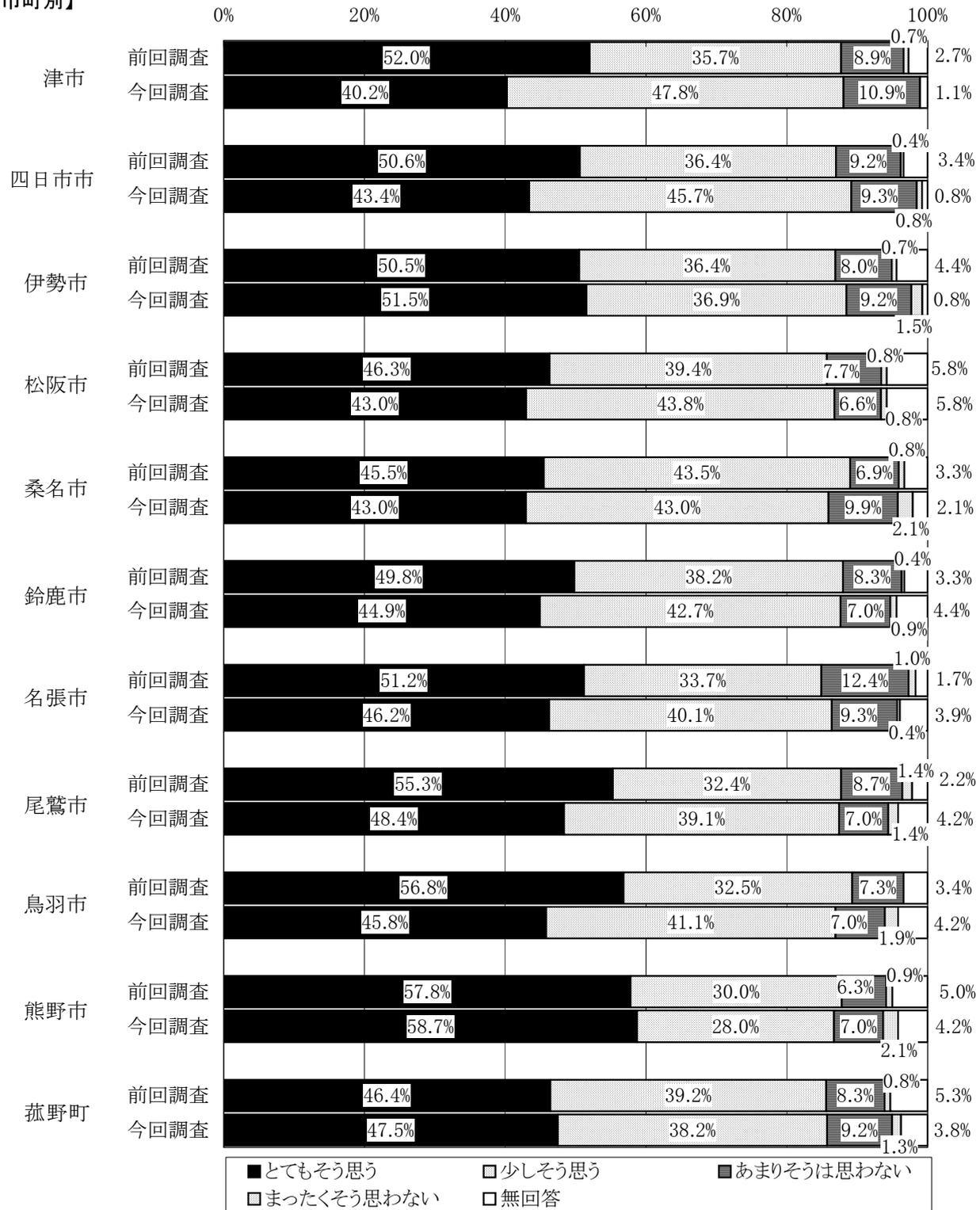
問 26 ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」作りへの住民参加についてあなたの意見をお聞きします。(〇は1つずつ)【回答者数:3,682】

(1)計画作りには、できるだけ多くの住民が参加することが必要だと思いますか？(〇は1つ)



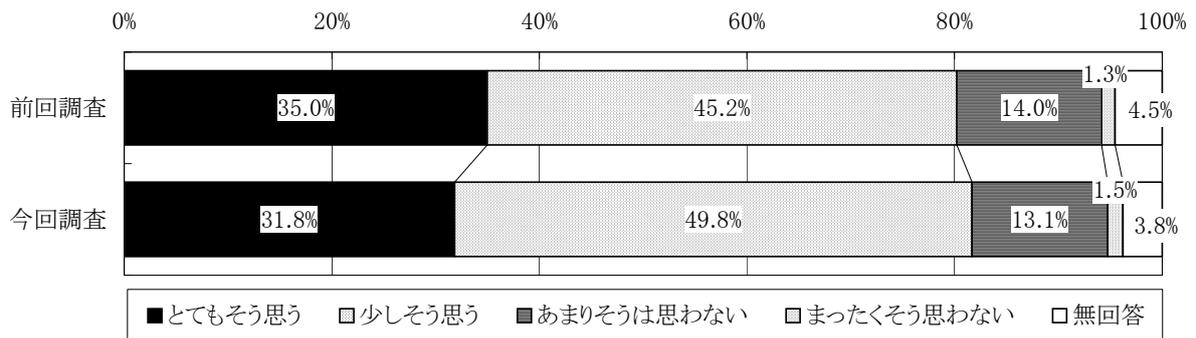
- ・「計画づくりへの住民参加は必要だと思うか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」が3.6ポイントの減少となっているのに対して、「少しそう思う」は4.1ポイントの増加となっている。

【市町別】



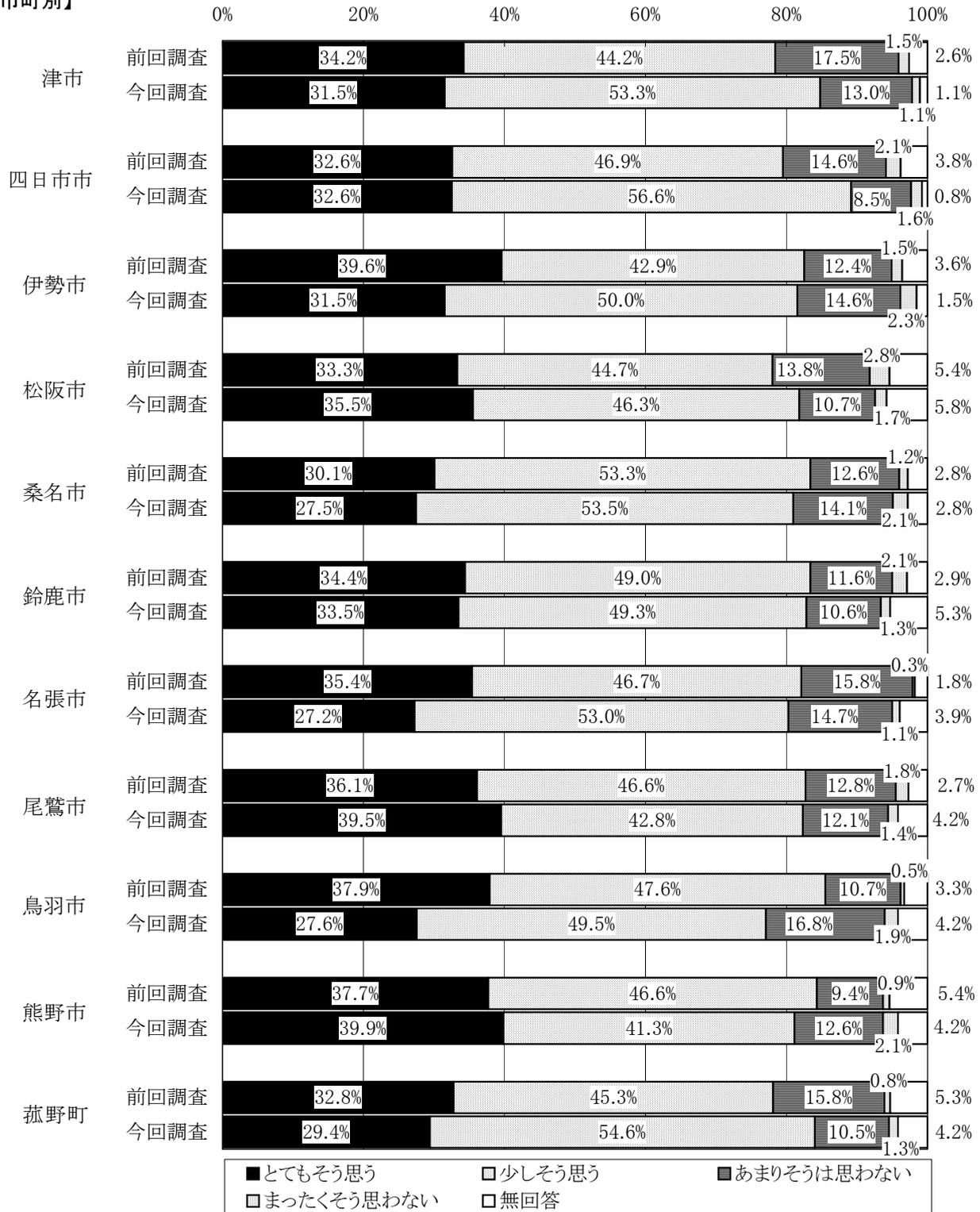
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は津市で11.8ポイント減、鳥羽市で11.0ポイント減、四日市市で7.2ポイント減、尾鷲市で6.9ポイント減、名張市で5.0ポイント減、鈴鹿市で4.9ポイント減など、ほとんどの市町で減少している。
- しかし、「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、どの市町もほとんど変化が見られない。

(2) 計画作りに住民が参加すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？(○は1つ)



- ・「計画づくりに住民が参加すれば、住民の要望や意見が反映できるか」という問いについて、前回調査との比較で見ると、「とてもそう思う」が3.2ポイントの減少となっているのに対して、「少しそう思う」は4.6ポイントの増加となっている。
- ・「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合は、前回調査で80.2%、今回調査で81.6%と変わらず大半を占めている。

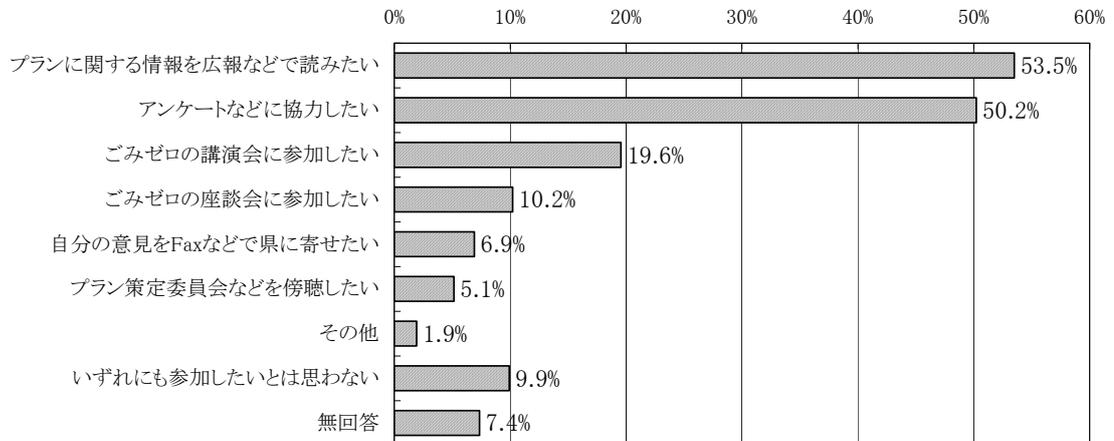
【市町別】



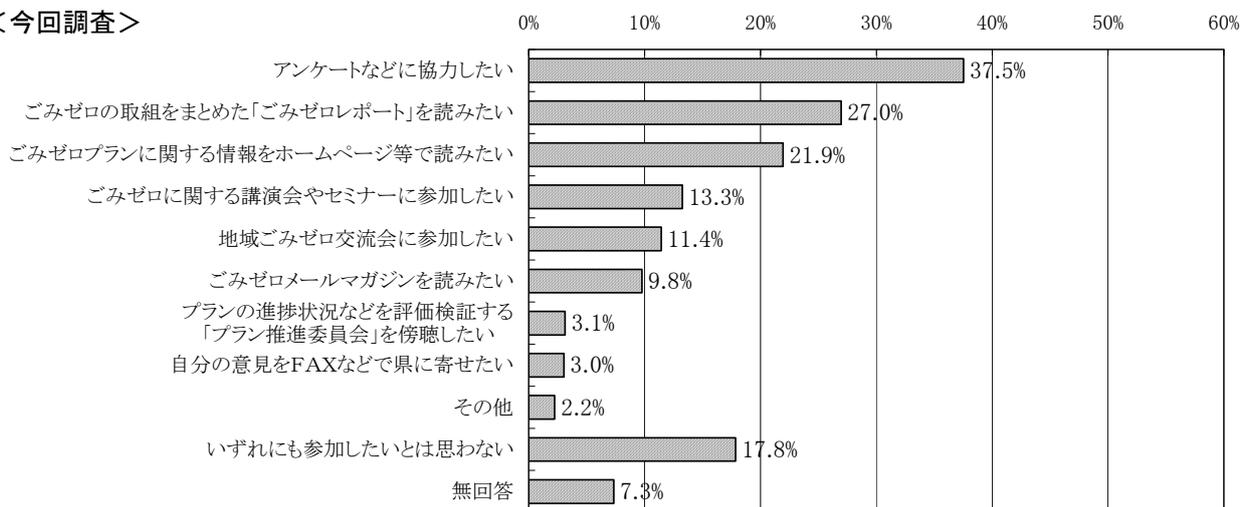
- 市町別に見ると、「とてもそう思う」は鳥羽市で10.3ポイント減、名張市で8.2ポイント減、伊勢市で8.1ポイント減など、ほとんどの市町で変化なし、又は減少となっている。
- 「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせると、四日市市、津市、菰野町、松阪市で増加となっているのに対して、鳥羽市などではやや減少している。
- 「とてもそう思う」、「少しそう思う」を合わせた割合は、前回調査同様、今回調査でもすべての市町で大半を占めている。

問 29 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取り組みに参加したいと思いますか？  
 (〇は当てはまるものすべて)【回答者数:3,682】

<前回調査>



<今回調査>



- ・「アンケートなどに協力したい」は、前回調査の50.2%から今回調査の37.5%へと12.7ポイントの減少となっているが、順位は前回の第2位から第1位に上がっている。
  - ・「いずれにも参加したいとは思わない」は、前回調査の9.9%から今回調査の17.8%へと7.9ポイントの増加となっている。
- ※ただし、選択肢が前回調査と今回調査で違うため、条件は異なる。

